

業務参考資料

室保存用

沖縄県における勤労青少年の職業 意識と余暇活動に関する調査結果

昭和 47 年 10 月

労働省婦人少年局

序

昭和47年5月、復帰を機として、沖縄県における勤労青少年の職業意識および余暇活動の実情等をは握し、同県の勤労青少年福祉推進の資料とするため、本調査を実施しました。

この報告書が沖縄県の勤労青少年問題に関心をもたれる方々の参考になれば幸いです。

なお、調査実施に際し、御協力を頂いた方々に感謝の意を表します。

昭和48年9月

労働省婦人少年局

目 次

序

I 沖縄県における勤労青少年の職業意識と余暇活動に関する

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の範囲	1
3. 調査事項	1
4. 調査実施期間	2
5. 調査機関	2
6. 調査方法	2

II 沖縄県における勤労青少年の職業意識と余暇活動の現状

(調査結果)	2
1. 事業所における勤労青少年の労務管理と職場レクリエーション...	2
(1) 事業所の概況	2
1) 調査対象事業所の構成	2
2) 事業所における勤労青少年の概況	3
(2) 職業人としてみた勤労青少年	4
(3) 勤労青少年の労務管理	6
1) 新規採用者に対する研修	6
2) 通学等の奨励援助	6
3) 上位学歴取得と昇進・昇格への配慮	6
4) 勤労青少年の勤労意欲向上のための対策	9
(4) 職場レクリエーション施設等	10
1) 事業所所有の施設	10
2) 事業所の借用施設	12

3) レクリエーション行事	1 2
4) クラブ・サークル活動	1 3
5) レクリエーション経費	1 4
(5) 勤労青少年の余暇に関する事業所の意見	1 6
1) 事業所外の自主的グループ活動	1 6
2) 余暇指導の必要性	1 7
2. 勤労青少年の職業意識と余暇活動	1 9
(1) 勤労青少年の概況	1 9
1) 調査対象勤労青少年の構成	1 9
2) 居住状況	1 9
3) 職種別就労状況	2 0
(2) 勤労青少年の職業意識	2 1
1) 勤務先決定と自分の意志	2 1
2) 離転職の経験および離職理由	2 2
3) 転職の希望	2 3
4) 仕事に対する興味	2 6
5) 職場でのなやみごと	2 7
6) 職業生活の希望	3 0
7) 仕事と余暇に関する意識	3 2
(3) 勤労青少年の余暇活動	3 2
1) 自由に過ごせる時間	3 2
2) 余暇利用に関する意識	3 5
3) 習学状況	3 7
4) 余暇利用施設	3 7
5) クラブ・サークル活動	3 9
(4) 教養・娯楽のための経費等	4 6
1) 教養・娯楽費	4 6

2)貯金額	48
(5) 勤労青少年のなやみごとなど	48
(6) なやみごとの相談相手	50

参 考 資 料

統 計 表

沖縄県における勤労青少年の職業意識と余暇活動に関する調査票

I 沖縄県における勤労青少年の職業意識と余暇活動に関する調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、沖縄県における勤労青少年の職業意識および余暇活動等を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 地域

沖縄県全域

(2) 対象

1) 事業所

製造業および卸売業・小売業に属する5人以上の常用労働者を雇用する事業所のうち、青少年(15～24才)を雇用する280事業所

2) 勤労青少年

上記1)の事業所に常時雇用されている青少年(15～24才)

1,000人

3. 調査事項

(1) 事業所票に関する事項

- 1) 職業人としてみた勤労青少年
- 2) 勤労青少年の労務管理
- 3) 職場レクリエーション
- 4) 勤労青少年の余暇に関する事業所の意見

(2) 個人票に関する事項

- 1) 勤労青少年の職業意識
- 2) 勤労青少年の余暇活動
- 3) 教養・娯楽のための経費等
- 4) 勤労青少年のなやみごとなど

5) なやみごとの相談相手

4. 調査実施期間

昭和47年10月

5. 調査機関

労働省婦人少年局－沖縄婦人少年室－統計調査員

6. 調査方法

事業所票 実地他計

個人票 実地自計

II 沖縄県における勤労青少年の職業意識と余暇活動の現状（調査結果）

1 事業所における勤労青少年の労務管理と職場レクリエーション

(1) 事業所の概況

1) 調査対象事業所の構成

調査対象となつた事業所は280で、第1表に示すとおり、産業別に見ると卸売業・小売業が多く約7割、事業所規模別では30人未満が約6割となつている。

第1表 調査対象事業所数
(単位 %)

区 分		有効回収数	構 成 比
総 数		280	100.0%
産 業	製 造 業	82	29.3
	卸売業・小売業	198	70.7
事業所規模	300人以上	9	3.2
	100～299人	28	10.0
	30～99人	66	23.6
	5～29人	177	63.2

2) 事業所における勤労青少年の概況

調査対象事業所において、25才未満の者が総数に占める割合は、34.9%である。産業別にみると卸売業・小売業に多く44.1%を占め、製造業では28.1%である。規模別にみると、規模の小さいほど割合が高く5～29人では44.0%、300人以上で25.5%である(第2表)。

第2表 産業および規模別労働者の構成

(単位 %)

区 分		常用労働者			勤労青少年の占める割合
		総数	男	女	総数
総 数		100.0	58.3	41.7	34.9
産 業	製 造 業	100.0	59.3	40.7	28.1
	卸売業・小売業	100.0	56.9	43.1	44.1
事業所規模	300人以上	100.0	58.7	41.3	25.5
	100～299人	100.0	56.6	43.4	31.9
	30～99人	100.0	59.0	41.0	39.8
	5～29人	100.0	59.6	40.4	44.0

参考として下記に全国における常用労働者に占める25才未満の者の割合を掲げておく。

<参 考>

常用労働者に占める勤労青少年(15～24才)の割合(全国計)

(単位 %)

産 業	勤労青少年の占める割合
総 数	32.3
製 造 業	30.0
卸売業・小売業	36.7

資料出所 昭和46年就業構造基本調査報告 総理府

つぎに調査対象事業所における勤労青少年の性別構成をみると、男子47.7%、女子52.3%で、産業別にみても製造業、卸売業・小売業とも女子の占める割合がいくぶん高い。規模別には、100～299人では女子が多く63.9%、男子36.1%であるが300人以上および99人以下では男子の占める割合が高い(第3表)。

第3表 産業、規模および性別勤労青少年の構成

(単位: %)

区 分		総 数	男	女
総 数		1000	47.7	52.3
産 業	製 造 業	1000	48.5	51.5
	卸売業・小売業	1000	47.1	52.9
事 業 所 規 模	300 人 以 上	1000	54.7	45.3
	100 ～ 299 人	1000	36.1	63.9
	30 ～ 99 人	1000	51.6	48.4
	5 ～ 29 人	1000	50.9	49.1

さらに学歴別構成についてみると、高校卒が最も多く50.7%、ついで中学卒45.0%、短大卒以上4.3%となつている。産業別にみると、卸売業・小売業は製造業に比べ学歴の高い者の割合が高く、高校卒64.7%、短大卒以上5.1%であるが、製造業は、高校卒34.2%、短大卒以上4.3%となつている。規模別にみると300人未満では高卒の占める割合が高く半数をこえているが、300人以上では中卒が多く7割を占めている(第4表)。

(2) 職業人としてみた勤労青少年

事業所において、最近の青少年を職業人としてどのようにみているかを
知るために、「一般教養・基礎学力」「仕事の理解力」「仕事の向上意欲」

第4表 産業、規模および学歴、性別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総数	中 学 卒			高 校 卒			短大卒以上		
			小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数		(1000) 1000	(450) 1000	45.9	54.1	(507) 1000	48.3	51.7	(43) 1000	52.5	47.5
産 業	製 造 業	(1000) 1000	(625) 1000	32.8	60.2	(342) 1000	61.8	38.2	(33) 1000	49.3	50.7
	卸売業・ 小 売 業	(1000) 1000	(302) 1000	56.5	43.5	(647) 1000	42.2	57.8	(51) 1000	54.2	45.8
事 業 所 規 模	300人 以 上	(1000) 1000	(700) 1000	43.8	56.2	(265) 1000	74.9	25.1	(35) 1000	50.0	50.0
	100～ 299人	(1000) 1000	(386) 1000	31.1	68.9	(556) 1000	37.8	62.2	(58) 1000	55.2	44.8
	30～99人	(1000) 1000	(373) 1000	53.8	46.2	(585) 1000	50.2	49.8	(42) 1000	60.0	40.0
	5～29人	(1000) 1000	(447) 1000	54.1	45.9	(521) 1000	49.0	51.0	(32) 1000	41.0	59.0

「勤勉」、「責任感」、「忍耐心・根性」、「愛社精神」、「礼儀作法・しつけ等」の8項目について聞いたところ、第5表のとおりである。

第5表 勤労青少年に対する職業人としての評価別

事業所の構成

(単位 %)

区 分	一般教 養・基 礎学力	仕事の 理解力	仕事の 向 上 意 欲	勤 勉	責任感	忍耐心 ・ 根 性	愛社精神	礼儀作 法・し つけ等
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よ い	6.4	18.2	18.9	16.4	16.4	12.9	12.5	8.2
普 通	76.8	70.0	56.4	65.0	51.1	39.3	60.0	50.0
よくない	16.4	11.8	24.7	17.9	32.1	47.8	27.1	41.1
不 明	0.4			0.7	0.4		0.4	0.7

ほとんどの事項は「普通」というものの占める割合が高いが、「忍耐力・根性」については「よくない」というものが「普通」(39.3%)を上まわり47.8%を占め注目される。つぎに各事項について「普通」と「よい」とを合わせてみると、「仕事の理解力」「一般教養・基礎学力」「勤勉」は8割を上まわり、「仕事の向上意欲」「愛社精神」が7割台を占めている。ついで「責任感」67.5%、「礼儀作法・しつけ等」58.2%、「忍耐力・根性」52.2%の順となつている(第5表)。

(3) 勤労青少年の労務管理

1) 新規採用者に対する研修

新規採用者に対して、就職直後、一定期間職場適応や安全教育、社会人としての教養等に関する研修を実施している事業所は、68.2%である。産業別には、製造業が研修を実施しているところが多く(76.8%)、規模別には規模の大きいところほど実施している割合が高い(100人以上94.6%、30～99人71.2%、5～29人61.6%)。これら研修を実施している事業所について、社内・社外にわけると、社外研修に参加させているものが多い(第6表)。

2) 通学等の奨励援助

勤労青少年が定時制高校や通信制高校などに通学することについての事業所の態度をみると、「奨励している」と答えたところが65.7%で産業別にみてもほとんど変化はみられない。規模別では規模の大きいところほど「奨励している」割合が多い傾向がみられる(第7表)。

3) 上位学歴取得と昇進、昇格への配慮

勤労青少年が就職後に上位学歴等を取得した場合の昇進、昇格に関する事業所の配慮についてみると、第8表のとおりである。「配慮する」ものが最も多く41.4%、「配慮しない」もの10.7%であるが、「事例なし」というものが39.7%を占めている。産業別にみると「配慮する」ものは製造業にその割合が高く57.3%(卸売業・小売業34.9%)

第6表 事業所における新規採用者に対する
研修状況 (M. A.)

(単位 %)

研 修		総 数	産 業		事 業 所 規 模		
			製造業	卸売業・ 小売業	100人以上	30~99人	5~29人
総 数		(1000)	(1000)	(1000)	(1000)	(1000)	(1000)
行なっている	小 計	(68.2) 100.0	(76.8) 100.0	(64.6) 100.0	(94.6) 100.0	(71.2) 100.0	(61.6) 100.0
	社 内	56.5	63.5	53.1	68.6	61.7	50.5
	社 外	89.0	90.5	88.3	91.4	85.1	89.9
行なっていない		(31.1)	(22.0)	(34.8)	(5.4)	(28.8)	(37.3)
不 明		(0.7)	(1.2)	(0.5)			(1.1)

(注) M. A. とは、Multiple Answer の略。一項目に2以上回答しているものがあるので各項目の合計は総数の100%と一致しない。以下の表について、M. A. の説明は略する。

第7表 勤労青少年の通学等に対する事業所の態度

(単位 %)

区 分	総 数	産 業		事 業 所 規 模		
		製造業	卸売業・ 小売業	100人以上	30~99人	5~29人
総 数	1000	1000	1000	1000	1000	1000
奨励している	65.7	65.9	65.7	73.0	69.7	62.7
奨励していない	33.9	34.1	33.8	27.0	28.8	37.3
不 明	0.4		0.5		1.5	

である。規模別にみると「配慮する」ものは規模の大きいところほど多く(100人以上59.5%、30~99人47.0%、5~29人35.6

多)、「事例なし」と答えているものは規模の小さいところに多い。

第8表 上位学歴等取得勤労青少年に対する事業所の
昇進・昇格への配慮の状況

(単位 多)

区 分	総 数	配慮する	配慮しない	事例なし	不 明
総 数	100.0	41.4	10.7	39.7	8.2
産 業					
製造業	100.0	57.3	8.5	28.1	6.1
卸売業・小売業	100.0	34.9	11.6	44.4	9.1
事業所規模					
100人以上	100.0	59.5	13.5	21.6	5.4
30～99人	100.0	47.0	9.1	39.4	4.5
5～29人	100.0	35.6	10.7	43.5	10.2

第9表 産業、事業所規模および勤労青

区 分	総 数	あ							
		小 計	労働条件		福利厚生		教育訓練		創意 提案 制度の 実施
			給与 の引 上げ	労働 時間の 短縮	独身 寮の 建設 整備	福利 厚生 施設 の整 備	職業 訓練 の強 化	一般 教養 をめ ぐる 教育	
総 数	(100.0)	(757) 100.0	75.0	20.8	4.2	25.0	27.4	10.4	14.2
産 業									
製造業	(100.0)	(841) 100.0	71.0	18.8	2.9	37.7	27.5	5.8	15.9
卸売業・小売業	(100.0)	(722) 100.0	76.9	21.7	4.9	18.9	27.3	12.6	13.3
事業所規模									
100人以上	(100.0)	(946) 100.0	65.7	14.3		60.0	34.3	5.7	22.9
30～99人	(100.0)	(742) 100.0	75.5	20.4	6.1	26.5	24.5	10.2	8.2
5～29人	(100.0)	(723) 100.0	77.3	22.7	4.7	14.8	26.6	11.7	14.1

4) 勤労青少年の勤労意欲向上のための対策

働く青少年の勤労意欲を向上させるために何らかの施策をおこなっているかどうか質問したところ、75.7%の事業所が講じていると回答している。産業別にみると、製造業が多く、84.1%、卸売業・小売業は72.2%である。規模別にみると、規模の大きいところほど対策を講じているところが多いが(100人以上94.6%)、5~29人の規模においても72.3%が何らかの施策を行なっている。勤労意欲向上対策の内容としては「労働条件」のなかで「給与の引上げ」に関するものが圧倒的に多い(75.0%)。つぎに多いのは「職業訓練の強化」で27.4%、第3位は「昇進登用」(25.5%)、第4位「福利厚生施設の整備」(25%)、第5位は職種転換(23.1%)の順になっている。

産業別にみると、「給与の引上げ」をあげているものは卸売業・小売業

少年の勤労意欲向上対策別事業所の構成(M. A.) (単位%)

工夫 その他	人 間 関 係			職種 転換	得 来 性		そ の 他			なし	不明
	職場 相談 員の 実施	相談 制度 の実 施	監督 者の 再教 育		昇進 登用	その 他	愛社 精神 の鼓 舞	家庭 との 連絡	その 他		
0.5	2.8	3.3	17.0	23.1	25.5	1.4	9.4	8.5	0.9	(23.9)	(0.4)
1.4	4.3	4.3	23.2	40.6	23.2	1.4	10.1	10.1	1.4	(15.9)	
	2.1	2.8	14.0	14.7	26.6	1.4	9.1	7.7	0.7	(27.3)	(0.5)
	2.9	5.7	22.9	37.1	22.9		14.3	5.7		(5.4)	
2.0	2.0	6.1	24.5	32.7	30.6	4.1	12.2	8.2		(25.8)	
	3.1	1.6	12.5	15.6	24.2	0.8	7.0	9.4	1.6	(27.1)	(0.6)

が製造業よりも多く、「職種転換」、「福利厚生施設の整備」は製造業に多い。規模別では、「給与の引上げ」は小規模事業所に多く、「福利厚生施設の整備」、「職種転換」は大規模事業所に多い傾向がみられる（第9表）。

(4) 職場レクリエーション施設等

1) 事業所所有の施設

事業所の文化・体育等の施設の所有状況を見ると、「あり」と答えた事業所は42.9%である。ちなみに昭和43年10月に労働省婦人少年局が実施した「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」をみると、事業所の文化、体育等の施設の所有状況は「ある」ものが65.4%となっており、5年前の本土の水準よりも沖縄の実情は下廻っていると思われるのである。産業別には、製造業に所有している割合が高く67.1%、卸売業・小売業は32.8%となっている。規模別にみると、規模の大きいところほど「あり」の割合が高い傾向がみられ（100人以上91.9%、30～99人68.2%、5～29人23.2%）、29人以下の規模では何の施設もないところのほが多い。施設内容についてみると、休養室（65.0%）が最も多く、卓球施設（62.5%）がこれにつぎ、ついで集会室（48.1%）、娯楽室（30.8%）、図書室（15%）、バレーコート（15%）の順になっている。

産業別にみると、製造業は施設のあるところが多く、とくに運動施設についてみると卓球のほかにはバレーコート（27.3%）、野球場（16.4%）、テニスコート（10.9%）のあるものがかなりみられるが、卸売業・小売業では、これらの施設のあるものは少なく、テニスコートのように全くないものがある。しかし、図書室（14.5%）、保養施設7.3%については、卸売業・小売業がわずかに製造業を上廻っている。規模別にみると、規模の大きいところほど施設のあるところが多く、とくに運動施設にこの傾向がいちじるしい（第10表）。

第10表 福利厚生施設の有無別事業所の構成 (M. A.) (単位 %)

区分	総数	あ						り				なし
		小計	図書室	娯楽室	集会室	保養施設	休養室	卓球施設	テニス・コート	バレー・コート	バスケ・コート	野球場
総数	(1000)	(42.9) 100.0	1.50	30.8	48.1	7.5	65.0	62.5	5.0	15.0	2.5	8.3 (57.1)
製造業	(1000)	(67.1) 100.0	14.5	58.2	50.9	7.3	67.3	72.7	10.9	27.3	5.5	16.4 (32.9)
卸売業・小売業	(1000)	(32.8) 100.0	1.54	24.6	46.2	7.7	63.1	53.8		4.6		1.5 (67.2)
事業所規模												
100人以上	(1000)	(91.9) 100.0	17.6	41.2	64.7	14.7	73.5	79.4	8.8	26.5	8.8	14.7 (8.1)
30~99人	(1000)	(68.2) 100.0	17.8	53.3	51.1	4.4	71.1	60.0	6.7	17.8		11.1 (31.8)
5~29人	(1000)	(23.2) 100.0	9.8	19.5	31.7	4.9	51.2	51.2		2.4		(76.8)

第11表 福利厚生施設の勤労青少年利用状況別事業所の構成 (単位 %)

利用状況	図書室	娯楽室	集会室	※保養施設	休養室	卓球施設	※テニス・コート	バレー・コート	※バスケ・コート	野球場
総数	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
多い	5.6	24.3	6.9		23.1	36.0		16.7		30.0
普通	27.8	54.1	56.9	44.5	53.8	46.7	66.7	50.0	33.3	40.0
少ない	55.5	18.9	20.7	33.3	16.7	9.3		11.1		10.0
不明	11.1	2.7	15.5	22.2	6.4	8.0	33.3	22.2	66.7	20.0

(注) ※印は、サンプル数が少ないので取扱い上注意を要する。

これらの施設の勤労青少年の利用状況をみると、卓球施設、倶楽室、休養室がよく利用されており、あまり利用されていないと答えているものは図書室で、つぎが保養施設である（第11表）。

2) 事業所の借用施設

事業所が従業員のために借用して使わせている施設があるかどうかをみると借用していないものが多く、91.4%を占め、借用しているものは7.5%である。参考までに前掲労働省婦人少年局「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」（昭和43年10月）によれば、「借用施設」があると答えた事業所は23.1%であり、この点についても5年前の本土の状況と比較してかなりの格差がみられる。

産業別にみると、借用施設のあるものは製造業に多く、規模別では大規模事業所に多くなっている（第12表）。

これらの借用施設は体育施設が多く、その所有関係をみると公的施設が圧倒的に多い（統計表第4表参照）。

第12表 事業所における借用施設の有無の状況

借用施設	総 数	(単位 %)				
		産 業		事 業 所 規 模		
		製造業	卸売業・小売業	100人以上	30~99人	5~29人
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あ り	7.5	15.9	4.0	20.0	9.1	4.0
な し	91.4	82.9	95.0	80.0	87.9	95.5
不 明	1.1	1.2	1.0		3.0	0.5

3) レクリエーション行事

何らかのレクリエーション行事を行なっている事業所は84.3%である。これはほとんど事業所主催によるものであるが（96.6%）、加盟団体主催というものは7.6%みられる（第13表）。

第13表 事業所におけるレクリエーション行事(M. A.)

(単位 %)

行 事			構 成 比	
総 数			(100.0)	
あ り	小 計		(84.3)	100.0
	主 催 者	事 業 所		96.6
		加盟団体		7.6
		不 明		0.4
な し			(15.7)	

行事の内容についてみると、「慰安旅行」が最も多く(58.9%)、「ピクニック」(26.7%)、「運動会」(15.7%)、「月見会」(4.2%)、「文化祭」(0.8%)となつている(第14表)。

第14表 産業、事業所規模およびレクリエーション行事の内容別事業所の構成(M. A.)

(単位 %)

区 分		総 数	慰安 旅行	ピク ニック	運動会	月見会	文化祭	その他
総 数		100.0	58.9	26.7	15.7	4.2	0.8	22.0
産 業	製 造 業	100.0	61.6	26.0	24.7	5.5	2.7	26.0
	卸売業・小売業	100.0	57.7	27.0	11.7	3.7		20.2
事 業 所 規 模	100~299 人	100.0	60.0	20.0	20.0	10.0	—	20.0
	30~99 人	100.0	58.7	31.7	20.6	1.6	1.6	22.2
	5~29 人	100.0	58.0	24.6	8.7	4.3		21.0

慰安旅行、ピクニックなどの勤労青少年の参加状況は第14表に示すとおりで、参加するものが多い。

4) クラブ・サークル活動

クラブ・サークル活動が「あり」と答えた事業所は34.3%となつている。クラブ・サークル活動については、産業別にみると格差が大きく、

「あり」と答えたところは製造業は64.3%であるが、卸売業・小売業では19.7%である。規模別では規模の大きいところほど「あり」の占める割合が高い(100人以上81.1%、30~99人50.0%、5~29人18.6%)(第16表)。

第15表 おもなレクリエーションへの勤労青少年
の参加状況別事業所の構成

(単位 %)

参加状況	慰安旅行	ピクニック	運動会	その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
多い	70.5	58.7	62.2	62.5
普通	24.5	30.2	24.3	29.7
少ない	2.1	4.8	8.1	1.6
不明	2.9	6.3	5.4	6.3

第16表 事業所におけるクラブ・サークル活動

(単位 %)

クラブ・サークル活動	総数	産 業		事 業 所 規 模		
		製 造 業	卸売業・小売業	100~299人	30~99人	5~29人
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	34.3	69.5	19.7	81.1	50.0	18.6
なし	65.7	30.5	80.3	18.9	50.0	81.4

クラブ・サークル活動の内容については、「野球」が最も多く約8割で、つぎが「ボウリング」(47.9%)で、「囲碁・将棋」、「卓球」、「バレーボール」が多くなっている(第17表)。

5) レクリエーション経費

レクリエーション経費を予算として組んでいる事業所は71.1%で、産業別にみると製造業79.3%、卸売業・小売業67.7%である。

第17表 産業、事業所規模およびクラブ・サークル活動

の内容別事業所の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	あ り														その 他	
		文 化 関 係				体 育				その他							
		小計	読書	コーラス	和洋裁	茶華道	囲碁将棋	その他	野球	卓球	テニス	バドミントン	バレーボール	ボウリング	ハイキング・登山		
総 数	(1000)	(343) 1000	3.1	7.3	3.1	11.5	40.6	7.3	80.2	39.6	8.3	2.1	33.3	47.9	10.4	6.3	(657)
製 造 業	(1000)	(695) 1000	3.5	3.5	5.3	12.3	42.1	7.0	66.7	43.9	12.3	1.8	31.6	36.8	3.5	5.3	(305)
卸 売 業・ 小 売 業	(1000)	(197) 1000	2.6	12.8		10.3	38.5	7.7	100.0	33.3	2.6	2.6	35.9	64.1	20.5	7.7	(803)
100～ 299人	(1000)	(811) 1000	5.4	5.4	5.4	21.6	43.2	5.4	67.6	45.9	16.2	2.7	32.4	27.0	8.1	5.4	(189)
30～ 99人	(1000)	(500) 1000		9.1		3.0	45.5	6.1	84.8	45.5	6.1	3.0	39.4	51.5	9.1	6.1	(500)
事業所規模 5～29人	(1000)	(186) 1000	3.0	6.1	3.0	6.1	24.2	9.1	72.7	18.2			21.2	57.6	12.1	6.1	(814)

規模別では、規模の大きいほどその割合が高い傾向がみられる（100人以上89.2%、30～99人81.8%、5～29人63.3%）。

1人当たりの年間経費についてみると、1,001～3,000円というところが最も多く32.1%を占め、ついで3,001～5,000円が19.6%、5,001～7,000円および10,000円以上が13.6%、1,000円以下11.6%、7,001～10,000円9.5%である（第18表）。

第18表 事業所におけるレクリエーション経費
(単位 %)

区 分	総数	予 算 あ り							予算 なし	
		1 人 当 た り 経 費 額								
		小計	1,000円 以下	1,001～ 3,000円	3,001～ 5,000円	5,001～ 7,000円	7,001～ 10,000円	10,000 円以上		
総 数	(1000)	(711) 1000	11.6	32.1	19.6	13.6	9.5	13.6	(289)	
産 業	製造業	(1000)	(793) 1000	18.5	35.4	12.3	15.4	9.2	9.2	(207)
	卸売業・ 小売業	(1000)	(677) 1000	8.2	30.6	23.1	12.7	9.7	15.7	(323)
事業所規模	100人 以上	(1000)	(892) 1000	21.2	48.5	6.1	9.1	12.1	3.0	(108)
	30～ 99人	(1000)	(818) 1000	13.0	40.7	18.5	13.0	3.7	11.1	(182)
	5～29人	(1000)	(633) 1000	8.0	23.2	24.1	15.2	11.6	17.9	(367)

(5) 勤労青少年の余暇に関する事業所の意見

勤労青少年の余暇生活に関し、「事業所外の自主的グループ活動」「余暇指導の必要性」について事業所の意見を聞いたところ、次のとおりである。

1) 事業所外の自主的グループ活動

勤労青少年が事業所の外で自主的にグループ活動をすることを「よいと思う」という事業所は58.2%で過半数を占め、「好ましくない」という

ものは0.7%に過ぎない。

第19表 勤労青少年の事業所外の自主的グループ
活動に対する事業所の意見

(単位 %)

区 分	総 数	産 業		事 業 所 規 模		
		製造業	卸売業・ 小 売 業	100人以上	30～99人	5～29人
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よいと思う	58.2	59.8	57.6	56.8	57.6	58.7
やむを得ない	2.5		3.5		1.5	3.4
内容による	38.2	40.2	37.4	43.2	39.4	36.7
好ましくない	0.7		1.0		1.5	0.6
そ の 他	0.4		0.5			0.6

「内容による」と態度を保留しているものは38.2%となつている。
産業別にみると、「内容による」というものは製造業にやや多く40.2%、卸売業・小売業では37.4%である。規模別では「内容による」というものは規模が大きくなるほど多く100人以上で43.2%、5～29人は36.7%となつている(第19表)。

2) 余暇指導の必要性

勤労青少年の余暇の過ごし方について、事業所として指導の必要性を感じているものは56.4%となつている。産業別にみると製造業に指導の必要性を感じているものが多く、規模別には規模の大きいところほど多くなつている(100人以上78.4%、30～99人60.6%、5～29人50.3%)。

指導の必要を感じている理由としては「健全育成、不良化防止のために」というものが最も多く67.1%を占め、ついで「定着性を高めるために」(40.5%)となつており、「作業能率があがるので」(20.3%)

第2.0表 産業、事業所規模および勤労青少年の余暇指導の意識別
事業所の構成（M. A.）

（単位 ％）

区 分	総 数	指導の必要を感じている			必要を感じていない			
		小 計	健全育成、 不良化防止 のため	定着性を 高めるた め	作業能率 があがる ので	その他	小 計	余暇は 本人の自 由である
総 数		(56.4) 1000	67.1	40.5	20.3	1.3	(43.6) 1000	77.9
		(65.9) 1000	66.7	44.4	20.4		(34.1) 1000	89.3
産 業	製造業・ 卸売業・ 小売業	(52.5) 1000	67.3	38.5	20.2	1.9	(47.5) 1000	74.5
	100人以上	(78.4) 1000	58.6	51.7	17.2		(21.6) 1000	100.0
事業所規模	30～ 99人	(60.6) 1000	7.50	4.50	2.75		(39.4) 1000	84.6
	5～29人	(50.3) 1000	66.3	34.8	18.0	2.2	(49.7) 1000	73.9
								11.5
								13.6
								12.5

もかなりみられる。

「定着性を高めるために」は産業別では製造業が多く、規模別にみると規模の大きいところに多い傾向がみられる。

一方、余暇指導の必要を感じていない理由としては「余暇は本人の自由である」というものが多く約8割である。このような考え方は産業別では製造業に多く、規模別では大きい企業に多い(第20表)。

2. 勤労青少年の職業意識と余暇活動

(1) 勤労青少年の概況

1) 調査対象勤労青少年の構成

調査対象となつた勤労青少年は1,000人で、その構成は、第21表および第22表のとおりである。

2) 居住状況

調査の対象となつた勤労青少年の居住の状況は「親元」が74.4%、「アパート、間借、下宿」が20.2%、「住込み」および「事業所の寄宿舍・寮」がそれぞれ1.6%である。

第21表 調査対象勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		有効回収数	構成比
総 数		1,000人	100.0%
産業	製 造 業	492	49.2
	卸売業・小売業	508	50.8
事業所規模	300人以上	160	16.0
	100～299人	248	24.8
	30～99人	333	33.3
	5～29人	259	25.9

第22表 調査対象勤労青少年の性、年齢、学歴別構成

(単位 %)

区 分		有効回収数	構成比
総 数		1,000人	100.0%
性	男	478	47.8
	女	522	52.2
年 令	15～19才	399	39.9
	20～24才	601	60.1
学 歴	中 学 卒	421	42.1
	高 校 卒	516	51.6
	短大卒以上	63	6.3

「アパート、間借、下宿」の青少年は兄弟姉妹と同居している者が46.0%、「1人」でいる者41.6%、「友人」といる者は8.9%である。親元から通勤している者は産業別では製造業に、規模別では100人以上に、性別では男子に高い傾向がみられる(統計表第7表)。

3) 職種別就労状況

調査の対象となつた勤労青少年の職種別の就労状況は第23表のとおりである。

第23表 勤労青少年の仕事の種類

(単位 %)

仕 事 の 種 類	構 成 比
総 数	100.0
機械の操作・製造・加工・組立・修理 荷造、配達、雑用など	39.8
事 務	7.0
販売、給仕、接客、サービスなど	25.5
そ の 他	22.1
	5.6

(2) 勤労青少年の職業意識

1) 勤務先決定と自分の意志

青少年が就職する場合に勤務先を自分の意志できめているかどうかについてみると、「自分できめた」が79.6%、「自分の意志ではない」ものが20.3%で大半の青少年は自分の意志で選んでいるとみられる。性別にはほとんど差はないが、学歴別では学歴の高くなるほど「自分できめた」割合が高い傾向がみられる(第24表)。

第24表 性、学歴および勤務先決定の際の自分の意志の有無別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総 数	自分できめた	自分の意志ではない	不 明
総 数		1000	79.6	20.3	0.1
性	男	1000	79.3	20.7	
	女	1000	79.9	19.9	0.2
学 歴	中 学 卒	1000	75.1	24.9	
	高 校 卒	1000	82.2	17.6	0.2
	短大卒以上	1000	88.9	11.1	

第25表 勤労青少年の離職経験

(単位 %)

区 分		総数	最初の勤め先	離 職 経 験 あ り			
				小 計	2 回目	3~4回目	5回目以上
総 数		(1000)	(49.1)	(500) 1000	59.5	36.6	3.9
事業所規模	300人以上	(1000)	(55.6)	(444) 1000	57.8	40.8	1.4
	100~299人	(1000)	(52.0)	(480) 1000	69.8	27.7	2.5
	30~99人	(1000)	(49.2)	(508) 1000	50.3	44.4	5.3
	5~29人	(1000)	(42.1)	(579) 1000	62.7	32.7	4.6
年 令	15~19才	(1000)	(60.2)	(398) 1000	75.5	22.6	1.9
	20~24才	(1000)	(41.8)	(582) 1000	52.3	42.8	4.9

2) 離転職の経験および離職理由

対象勤労青少年中、離転職の経験のあるものは50.9%と過半数を占めており注目される。離職経験のあるものについてその回数をみると、現在の勤め先は2回目というものが最も多く59.5%、3～4回目36.6%、5回目以上3.9%となつている。規模別にみると規模の小さいところほど離職経験のあるものの割合が高くなつている（5～29人57.9%、30～99人50.8%、100～299人48.0%、300人以上44.4%）（第25表）。

これを性別にみると男子52.9%、女子49.0%が離職経験をもっている。年令別では20～24才に離職経験者が多く58.2%（15～19才39.8%）である。学歴別には、学歴の低いほうに離職経験のあるものが多い（統計表第9表）。参考までに前掲労働省婦人少年局「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」をみると、本土の5年前と対比して離職経験者が多いことが目につく。

<参 考>

勤労青少年（15～19才）の離職経験（全国計）

（単位 %）

区 分		総 数	最初の勤め先	離職経験あり	不 明
総 数		100.0	84.7	15.1	0.2
性	男	100.0	82.1	17.8	0.1
	女	100.0	86.3	13.5	0.2
学 歴	中学卒	100.0	79.6	20.2	0.2
	高校卒	100.0	92.5	7.4	0.1

資料出所「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」

昭和43年10月 労働省婦人少年局

離転職の経験のある勤労青少年に最初の勤め先をやめた理由を聞いたところ、「仕事が自分に合わなかつた」と答えた者が多く（34.4%）、ついで「給料が安かつた」（33.8%）となつており「労働時間が長い、残業が多かつた」（22.2%）がかなりある。

性別にみると、男子に「仕事が自分に合わなかつた」という者が多くみられ（36.4%）、女子に「給料が安かつた」という者が多い（34.8%）。

学歴別にみると「給料が安かつた」という者は中学卒が多く（39.8%）「仕事が自分に合わなかつた」という者は、高校卒（33.3%）と短大卒以上（45.8%）が多い（第26表）。

3）転職の希望

勤労青少年が現在勤務している事業所で継続して働く意識があるかどうか質問したところ「今のままでよい」（28.9%）、「仕方がないから続ける」（3.5%）と答えた者が約3分の1あり、「勤め先を変わりたい」（24.4%）、「自立して仕事を始めたい」と転職したいと答えた者が約3分の1となつている。「わからたい」という者は28.7%、「結婚したらやめたい」という者は6.4%である。「勤め先を変わりたい」者の転職を希望している地域をみると、県内（46.3%）が多いが、県外が23.0%となつている。

「今のままでよい」と答えた者の勤続年数をみると、3年以上が多く、34.4%である。性別には、「今のままでよい」者は、男子（34.3%）に多く、女子24.0%である（第27表）。

「勤め先を変わりたい」者に、その理由をあげてもらつたところ、第28表のとおりである。最も多いものは「給料が安い」で58.2%と過半数を占め、「仕事が自分に合わない」（32.4%）、「仕事が単調である」（23.4%）、「職場の施設、福利施設が悪い」（16.0%）となつてゐる。

第26表 勤労青少年の最初の勤

区 分		総 数	約束と違つた	労働時間が長い、残業が多かつた	給料が安かつた
総 数		1000	11.8	22.2	33.8
性	男	1000	13.8	19.4	32.8
	女	1000	9.8	25.0	34.8
年 令	15~19 才	1000	7.5	27.0	35.8
	20~24 才	1000	13.7	20.0	32.9
学 歴	中 学 卒	1000	9.7	28.4	39.8
	高 校 卒	1000	14.1	17.7	29.3
	短大卒以上	1000	8.3	8.3	20.8

第27表 勤労青少年の転職希

区 分		総 数	今のままでよい	仕方がないから続ける	自立して仕事を始めたい
総 数		(1000)	(28.9)	(3.5)	(8.1)
勤続年数	1 年 未 満	(1000)	(26.8)	(3.2)	(7.8)
	1~2年未満	(1000)	(29.5)	(3.1)	(6.5)
	2~3年未満	(1000)	(25.5)	(4.5)	(12.1)
	3 年 以 上	(1000)	(34.4)	(3.8)	(7.5)
性	男	(1000)	(34.3)	(4.0)	(12.8)
	女	(1000)	(24.0)	(3.1)	(3.8)

め先の離職理由 (M. A.)

(単位 Ⅱ)

職場の施設、 福利施設が 悪かつた	上司、同僚 と合わなかつた	仕事が自分 に合わなかつた	昇進の見通 しがなかつた	他の事業所か ら誘われた、 よいと思つた	その他	不 明
8.3	10.6	34.4	7.5	3.9	19.1	0.6
8.3	11.5	36.4	7.1	3.2	15.4	0.4
8.2	9.8	32.4	7.8	4.7	22.7	0.8
6.9	11.3	38.4	7.5	5.0	15.7	1.3
8.9	10.3	32.6	7.4	3.4	20.6	0.3
8.1	9.3	34.3	7.6	4.7	12.7	0.8
8.4	11.6	33.3	7.2	3.6	23.3	0.4
8.3	12.5	45.8	8.3		37.5	

望 の 状 況

(単位 Ⅱ)

結婚したら やめたい	勤め先を変わりたい				わからない
	小 計	転 職 希 望 地			
		県 内	県 外	不 明	
(6.4)	(24.4) 100.0	46.3	23.0	30.7	(28.7)
(5.1)	(24.9) 100.0	48.9	21.7	29.4	(32.2)
(7.3)	(20.7) 100.0	38.9	25.9	35.2	(32.9)
(3.2)	(29.9) 100.0	55.3	17.0	27.7	(24.8)
(9.9)	(24.1) 100.0	41.2	27.5	31.3	(20.3)
(0.8)	(19.2) 100.0	47.8	16.3	35.9	(28.9)
(11.5)	(29.1) 100.0	45.4	27.0	27.6	(28.5)

第28表 勤労青少年の転職希望の理由(M. A.)

(単位 %)

勤め先を変りたい理由	構成比
総 数	100.0
約束と違う	4.1
労働時間が長い、残業が多い	13.1
給料が安い	58.2
職場の施設、福利施設が悪い	16.0
上司、同僚と合わない	6.1
仕事が自分に合わない	32.4
仕事が単調である	23.4
仕事の社会的価値が低い	8.6
昇進の見通しがたい	8.6
他の事業所から誘われておりよいと思う	1.6
そ の 他	6.6
不 明	0.8

4) 仕事に対する興味

勤労青少年に「今の仕事に興味がありますか」と聞いたところ、「興味がある」と答えた者は34.7%、「興味がない」が16.4%である。

「何ともいえない」という者が48.9%で約半数を占め「興味がある」を上まわっていることは注目される。これを規模別にみると「興味がある」は、小規模事業所ほど多い(5~29人38.2%、30~99人36.0%、100~299人31.5%、300人以上31.2%)。「興味がない」という者は、規模の大きい事業所ほど多い傾向がみられる。ところで、「何ともいえない」という者は各規模にわたってほぼ半数を占めている(46.9~52.4%)。「興味がある」理由としては、「仕事に自分が合っている」(42.1%)、「仕事に自分が生かせる」(30.3%)

％)をあげている(第29表)。

なお、学歴別にみると、学歴の高くなるにつれ、仕事に「興味あり」という者の割合が多くなっている。(短大卒以上50.8％、高校卒35.5％、中学卒31.4％)。「興味あり」の理由を見ると中卒、高卒は「仕事が自分に合っている」が多いが、短大卒以上は「仕事に変化がある」をあげるものが多い(統計表第13表)。

5)職場でのなやみごと

現在の職場でなやみごとがあるかどうかについては、「なやみごとがある」と答えた青少年は60.4％あり、「なやみごとはない」は39.6％となつている。なやみごとの内容としては「労働時間、給料のことなど」が最も多く63.6％を占め、ついで「上司や仲間の人間関係」(42.5％)があげられている。これを規模別にみると規模の大きくなるほどなやみごとをもつ者の割合が高い(5～29人 47.9％、30～99人61.0％、100人以上67.9％)。労働時間、給料に関するなやみは、30～99人が最も多く(70.4％)、上司や人間関係については100人以上が最も多い(48.7％)。性別にみると、男子に労働時間、給料に関するなやみが多く(男子70.5％、女子58.0％)、上司や人間関係に関するなやみは女子に多くみられる(女子49.2％、男子34.3％)(第30表)。

第 29 表 勤労青少年の仕事への興味

事業所規模	総 数	興 味		
		小 計	仕事に変 化がある	仕事に社 会的意義 がある
総 数	(1000)	(34.7) 100.0	12.4	13.3
300 人以上	(1000)	(31.2) 100.0	10.0	10.0
100～299 人	(1000)	(31.5) 100.0	17.9	16.7
30～99 人	(1000)	(36.0) 100.0	15.0	10.0
5～29 人	(1000)	(38.2) 100.0	6.1	16.2

第 30 表 勤労青少年の職場でのなやみ

区 分	総 数	な や み		
		小 計	労働時間 給料のことなど	上司や仲 間の人間 関係
総 数	(1000)	(60.4) 100.0	63.6	42.5
事業所規模	100 人以上	(67.9) 100.0	58.1	48.7
	30～99 人	(61.0) 100.0	70.4	37.4
	5～29 人	(47.9) 100.0	64.5	37.1
性	男	(56.7) 100.0	70.5	34.3
	女	(63.8) 100.0	58.0	49.2

(M. A.)

(単位 %)

が あ る				興味がない	何とも いえない
仕事に自 分が生か せる	仕事に自 分が合っ ている	その他	不 明		
30.3	42.1	3.2	0.9	(16.4)	(48.9)
30.0	44.0	6.0		(21.9)	(46.9)
29.5	35.9	2.6	1.3	(16.1)	(52.4)
28.3	47.5	1.7	0.8	(15.3)	(48.7)
33.3	39.4	4.0	1.0	(14.7)	(47.1)

ごと (M. A.)

(単位 %)

ど と が あ る					なやみど とはない
学歴が重 視される こと	適性配置 のこと	取った資格 が評価され ないこと	その他	不 明	
5.1	13.1	5.8	3.1	0.5	(39.6)
5.4	14.8	6.1	3.2	0.4	(32.1)
5.9	14.8	7.9	2.5	0.5	(39.0)
3.2	6.5	1.6	4.0	0.8	(52.1)
6.3	12.9	5.2	3.7		(43.3)
4.2	13.2	6.3	2.7	0.9	(36.2)

参考までに以下に、5年前の本土の勤労青少年のなやみごとを掲載しておく。

＜参 考＞

勤労青少年(15～19才)の職場での
なやみごと(全国計)(M. A.)

(単位 %)

性	総 数	労働時間 給料のことなど	上司や仲 間の人間 関係	学歴が重 視される こと	適性配置 のこと	取った資格 が評価され ないこと	その他
総 数	(62.1) 100.0	39.8	53.6	4.2	9.4	3.2	9.1
男	(54.8) 100.0	54.0	37.0	5.7	11.9	4.7	8.7
女	(66.3) 100.0	33.1	61.4	3.5	8.2	2.6	9.2

(注) 括弧内数字はなやみごとのある勤労青少年の割合

資料出所 「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」

昭和43年10月 労働省婦人少年局

6) 職業生活の希望

「これからの職業生活についてどのように考えていますか」と聞いたところ、「事業所で働き自分に合った仕事をやつていきたい」という者が最も多く43.2%を占め、ついで「技術者、技能者の道を歩みたい」が多く22.8%、「独立して自営業主になりたい」(14.5%)、「教師、税理士など免許資格のいる職業につきたい」(11.8%)という者が比較的多い。性別にみると「事業所で働き自分に合った仕事をやつていきたい」と答えた者は女子に多く(女子51.0%、男子34.7%)、「技術者、技能者の道を歩みたい」「独立して自営業主になりたい」と答えた者は、いずれも男子にその割合が多い。年令別にみると「事業所で働き自分に合った仕事をやつていきたい」と答えた者は15～19才

第31表 勤労青少年の職業生活の希望 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	事業所で 働き早く 高い地位 につきたい	事業所で働 き自分含 めた仕事 をやつたい	事業所で 働き賃金 がもらえ ればよい	技術者、 技能者の 道を歩み たい	独立して 自営業主 になりた い	免許資格の いる職業 (教師、税 理士、栄養 士)などに つきたい	職業生活 には夢も 希望もな い	そ の 他
		数	数	数	数	数	数	数	数
総 数	1000	3.3	43.2	3.1	22.8	14.5	11.8	2.0	1.8
性 別	男	4.4	34.7	3.6	28.7	19.2	7.9	2.5	2.1
	女	2.3	51.0	2.7	17.4	10.2	15.3	1.5	1.5
年 令	15~19才	3.0	48.1	4.0	23.6	9.3	11.0	1.8	1.3
	20~24才	3.5	39.9	2.5	22.3	18.0	12.3	2.2	2.2

に多く（15～19才48.1%、20～24才39.9%）、「独立して自営業主になりたい」者は20～24才に多い（15～19才9.3%、20～24才18.6%）（第31表）。

7) 仕事と余暇に関する意識

青少年が仕事と余暇の関係をどのように考えているかを聞いたところ、「労働時間中は仕事にうち込み余暇は余暇で楽しむ」と考えている者が多く82.5%で、「余暇を楽しむことが生きがいで仕事は生活の手段」が13.3%、「仕事だけが生きがいで余暇は二の次と思う」者は最も少なく1.9%である。性別にみると「労働時間中は仕事にうち込み余暇は余暇で楽しむ」と答えた者は女子に多く（女子86.2%、男子78.5%）「余暇を楽しむことが生きがいで仕事は生活の手段」および「仕事だけが生きがいで余暇は二の次と思う」と答えた者は男子が多い。年令別にみると「仕事だけが生きがいで余暇は二の次と思う」と答えた者は、15～19才が多い。学歴別では「労働時間中は仕事にうち込み余暇は余暇で楽しむ」と答えた者は、学歴が高くなるほど多い傾向がみられる（第32表）。

(3) 勤労青少年の余暇活動

1) 自由に過ごせる時間

青少年の平日の自由時間（仕事や身のまわりのことをしなかつたり、学校などに行かない自由な時間）の平均は3時間17分となつている。事業所規模別にみると大差はないが、性、年令別では若干差がみられる。すなわち、男子は3時間32分の自由時間があるが、女子は3時間4分である。また20～24才の年令層は3時間23分の自由時間があるが15～19才は3時間9分である。

自由時間の分布をみると、「2～5時間未満」が最も多く（71.7%）ついで「5時間以上」（19.2%）、「2時間未満」（9.1%）となつている。事業所規模別に見ると、「2～5時間未満」は事業所規模が大

第 3 2 表 勤労青少年の仕事と余暇に関する意識

(単位 ⅔)

区 分		総 数	仕事だけが生きがい は二の次 と思う	労働時間中 は仕事に ちこみ は余暇で 楽しむ	余暇を楽し むことが生 きがい は生活の 手段	その他	不 明
総 数		100.0	1.9	82.5	13.3	0.7	1.6
性	男	100.0	3.3	78.5	15.3	1.0	1.9
	女	100.0	0.6	86.2	11.5	0.4	1.3
年 令	15~19才	100.0	3.8	81.0	12.8	0.7	1.7
	20~24才	100.0	0.7	83.5	13.6	0.7	1.5
学 歴	中学卒	100.0	3.6	81.5	12.8	0.5	1.6
	高校卒	100.0	0.8	82.9	14.1	1.0	1.2
	短大卒 以上	100.0		85.7	9.5		4.8

第 3 3 表 勤労青少年の平日の余暇時間

(単位 ⅔)

区 分		総 数	2 時間未満	2 ~ 5 時間未満	5 時間以上	平均時間
総 数		100.0	9.1	71.7	19.2	3 時 17 分
事業所規模	100 人以上	100.0	5.4	76.0	18.6	3. 19
	30~99 人	100.0	9.9	71.5	18.6	3. 15
	5~29 人	100.0	13.9	65.3	20.8	3. 17
性	男	100.0	7.8	66.5	25.7	3. 32
	女	100.0	10.4	76.4	13.2	3. 04
年 令	15~19 才	100.0	13.5	67.7	18.8	3. 09
	20~24 才	100.0	6.1	74.4	19.5	3. 23

きくなるほどその割合が高く「2時間未満」は小規模ほどその割合が高いが、一方、「5時間以上」という者が、5～29人に多い（20.8%）。性別にみると「2～5時間未満」および「2時間未満」は女子が多く、「5時間以上」は男子が多い（男子25.7%、女子13.2%）。年令別には「2～5時間未満」は20～24才に多く、「2時間未満」は、15～19才が多い（第33表）。

つぎに、休日の自由時間の分布をみると、「10時間以上」が最も多く45.6%、「5～8時間未満」24.5%、「8～10時間未満」20.0%、「5時間未満」9.9%である。性別にみると、「10時間以上」は男子に多く（男子58.6%、女子33.7%）とかなりの差がみられる。年令別には20～24才が15～19才よりも休日の自由時間の長いものが多い（第34表）。

第34表 勤労青少年の休日の余暇時間

（単位 %）

区 分		総 数	5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10時間以上
総 数		1000	9.9	24.5	20.0	45.6
性	男	1000	5.4	16.7	19.3	58.6
	女	1000	14.0	31.6	20.7	33.7
年令	15～19才	1000	11.0	26.1	19.8	43.1
	20～24才	1000	9.2	23.5	20.1	47.2

＜参 考＞

勤労青少年（15～19才）の平日の自由時間（全国計）

（単位 %）

性	総 数	2時間未満	2～5時間未満	5時間以上	不 明	平均時間
総数	1000	9.4	68.4	21.7	0.5	3時間29分
男	1000	9.7	61.5	28.0	0.8	3 37
女	1000	9.2	72.3	18.1	0.4	3 24

資料出所 「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」

昭和43年10月 労働省婦人少年局

勤労青少年(15~19才)の休日の自由時間(全国計)

(単位 %)

性	総数	5時間未満	5~8時間未満	8~10時間未満	10時間以上	不明
総数	1000	3.1	13.1	16.5	66.6	0.7
男	1000	2.2	7.5	14.6	74.7	1.0
女	1000	3.8	16.3	17.5	61.9	0.5

資料出所 上表に同じ

2) 余暇利用に関する意識

「あなたは日頃、余暇をどう過ごしたいと思つていますか」との問に対して、「旅行、キャンプ、ハイキングなどをしたい」と答えた者が55.0%で最も多く、「気の合つた友人と過ごしたい」(45.0%)、「ピンポン、野球などスポーツをしたい」(28.9%)、「おけいごとをしたい」(26.1%)というように行動的な回答をした者が多いのであるが、一方、「休養したい」という者もかなりおり28.5%である。性別にみると、男女ともに「旅行、キャンプ、ハイキング等をしたい」が1位を占め(女子60.5%、男子49.0%)、第2位は、女子は「おけいごとをしたい」(49.0%)に対し、男子は「野球などスポーツをしたい」(44.1%)が多く、第3位は男女ともに「気の合つた友人と過ごしたい」(男子43.7%、女子46.2%)となつている。「仕事に役立つことを学びたい」という者は男子に多く(男子19.0%、女子10.9%)、「読書・研究で知的に豊かになりたい」は女子に多い(男子13.6%、女子16.7%)(第35表)。

第 3 5 表 勤労青少年の余暇利用に関する意識 (M. A.)

(単位 %)

性	総数	仕事に役立つことを学びたい	おけいこごとを学ばしたい	読書、研究で知見を増やしたい	収集、製作、写真、音楽など趣味をやりたい	ペンギン、野鳥などスズメを飼育したい	気の合った友人と遊びたい	旅行、キャンプ、ハイキング、スキー等を楽しみたい	収入のある仕事をしたい	休養したい	その他の
総数	1000	14.8	24.1	16.4	17.2	28.9	45.0	55.0	8.7	28.5	1.9
男	1000	12.0	1.0	13.6	17.8	44.1	43.7	42.0	10.0	30.5	3.3
女	1000	10.9	49.0	12.0	16.7	14.9	46.2	60.5	7.5	26.6	0.6

第 3 6 表 勤労青少年の習学状況 (M. A.)

(単位 %)

性	総数	学んでいる											学んでいない	
		小計	定時制 通信制 高校	お茶 会	茶花	料理	洋裁	自動車 運転	職業 訓練 施設	簿記 珠算等	短大 第二部	大学 第二部		その他
総	数	(1000)	(23.6) 1000	21.7	13.0	11.6	14.1	6.2	4.3	4.3	4.3	9.4	18.8	(72.4)
男		(1000)	(19.7) 1000	38.4	2.1	5.2	2.1	14.9	5.3	2.1	4.3	16.0	10.6	(80.5)
女		(1000)	(34.9) 1000	12.6	18.7	15.9	20.3	1.6	3.8	5.5	4.4	6.0	23.1	(65.1)

3) 習学状況

「あなたは今、学校やわけいごとに通っていますか」と聞いたところ「通っている」と答えたものは27.6%である。通っている者についてその内容をみると「定時制・通信制高校」が最も多く(21.7%)、ついで「洋裁」(14.1%)、「お茶・お花」(13.0%)、「料理」(11.6%)、「大学第二部」(9.4%)の順になっている。性別にみると男子は「定時制、通信制高校」に通学する者が最も多くを占め(39.4%)、「大学第二部」(16.0%)、「自動車運転」(14.9%)が比較的多いが、女子は「洋裁」が多く(20.3%)、「お茶、お花」(18.7%)、「料理」(15.9%)となっており、「定時制、通信制高校」通学者は12.6%である(第36表)。

4) 余暇利用施設

—施設の有無の状況—

勤労青少年がスポーツや文化活動をする時、手軽に利用できる施設があるかどうか質問したところ「あり」という者22.2%で8割近くの者は余暇に手軽に利用できる施設はないと答えている。

「あり」と答えたものについてその内容をみると「文化活動関係」施設が多く74.8%である。これらの施設の所有関係をみると、市町村(36.7%)「事業所」(34.9%)が多い。体育関係施設を利用している者は約半数で、施設の所有者は「市町村」(40.4%)が多く、事業所(30.3%)がこれについている(第37表)。

第 3 7 表 勤労青少年が手軽に利用できる余暇施設(M. A.)

(単位 %)

区 分		構 成 比		
総 数		(1 0 0.0)		
あ り	小 計	(2 2.2)	1 0 0.0	
	文化 関 係	小 計	7 4.8	1 0 0.0
		事 業 所		3 4.9
		他の事業所		1.2
		市 町 村		3 6.7
		そ の 他		3 4.3
	体 育 関 係	小 計	4 9.1	1 0 0.0
		事 業 所		3 0.3
		他の事業所		2.8
		市 町 村		4 0.4
そ の 他			3 4.9	
な し		(7 7.2)		
不 明		(0.6)		

<参 考>

手軽に利用できる施設の状況別勤労青少年(1 5 ~ 1 9 才)

の構成(全国計 (M. A.)

(単位 %)

総 数	施 設 あ り			施設なし	不 明
	小 計	体育施設	文化施設		
(1 0 0.0)	(5 0.2) 1 0 0.0	8 9.3	5 6.3	4 9.7	(0.1)

資料出所 「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」

昭和4 3年1 0月

労働省婦人少年局

—平日の利用状況—

働く青少年が調査前の1週間の平日の余暇に利用した施設等について聞いたところ、利用した施設等はかなり広範囲にわたっており、ボウリング場2 6.9%、デパート・専門店街2 2.8%、映画館2 2.2%、喫茶店2 0.1%、パチンコ屋9.3%、深夜飲食店6.6%、卓球場6.0%、公園5.9%などとなつてゐる。ところで、これらの施設を何も利用しなかつたものは、2 7.6%である。性別にみると男子は「ボウリング場」(3 1.8%)、 「映画館」(2 7.0%)、 「パチンコ屋」(1 7.2%)

を利用する者が多くみられ、女子は「デパート・専門店街」(36.2%)「喫茶店」(24.9%)、「ボウリング場」(22.4%)を利用する者が多い。男女ともに比較的利用者が多いのは「ボウリング場」である。「深夜飲食店」「卓球場」「スラック・マシン」「学校の体育施設」を利用している者は男子が多い(第38表)。

— 休日の利用状況 —

青少年が調査前の休日に利用した余暇施設等についてみると、平日にくらべて施設等を利用しなかつた者が多くなつており、「どれも利用しなかつた」者が34.9%である。利用した施設などの内容を見ると平日と同じような傾向を示しているが、宿泊施設などを利用している者がわずかながらみられる(第39表)。

— ほしい施設 —

勤労青少年に余暇利用のための施設としてほしいものをあげてもらつたところ、66.1%の者がほしい施設をあげている。この内容を見ると「体育施設」が最も多く37.5%、「公園」22.8%、「公民館・図書館等」15.7%、「公共宿泊施設」12.7%、「保養・宿泊施設」10.4%、「卓球場」10.1%、「ボウリング場」9.5%、「勤労青少年ホーム等青少年余暇施設」3.5%、「劇場、音楽会場等」3.3%となつている。性別にみると、「体育施設」を希望する者は男子に多く(男子45.3%、女子30.3%)、「公園」を希望する者は女子に多くみられる(女子30.3%、男子14.8%)(第40表)。

5) クラブ・サークル活動

— クラブ・サークルへの加入状況 —

職場あるいは地域を問わず何らかのクラブやサークルに加入している者は21.0%である。

産業別にみると、加入しているものは製造業(23.8%)に多く、

第38表 勤労青少年の平日における余暇施設等の利用状況(M. A.) (単位 %)

[illegible]

第39表 勤労青少年の休日における余暇施設等の利用状況(M. A.) (単位: 名)

[illegible]

第40表 勤労青少年の希望する余暇利用施設等(M. A.) (単位%)

作	形	所 場														所 場	所 場	
		小 形	公共浴 自來水	保養浴	公園	和洋少年 会館	公民館	有 限 公 司	有 限 公 司	有 限 公 司	有 限 公 司	有 限 公 司	有 限 公 司	有 限 公 司				
男	形	(100.0)	6.67	12.7	1.4	22.6	8.2	15.7	2.5	1.1	1.4	9.8	1.0	0.6	0.5	0.5	0.5	(22.7)
	形	(100.0)	6.55	14.2	8.6	14.8	7.5	13.5	4.5	4.9	0.6	3.4	1.0	1.1	0.6	0.6	0.6	(24.7)
女	形	(100.0)	6.57	14.4	12.0	14.3	6.4	14.8	3.0	0.2	2.0	8.6	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	(24.3)
	形	(100.0)	6.57	14.4	12.0	14.3	6.4	14.8	3.0	0.2	2.0	8.6	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	(24.3)

卸売・小売業では18.3%となつている。

性別にみると、クラブ活動に加入している者は男子に多く27.4%で、女子は15.1%である(第41表)。

<参 考>

クラブ・サークルへ加入している勤労青少年
(15~19才)(全国計)

(単位 %)

総 数	加入している	加入していない	不 明
100.0	30.2	69.4	0.4

資料出所 「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」

昭和43年10月 労働省婦人少年局

第41表 勤労青少年のクラブ・サークルへの加入状況

(単位 %)

加入状況	総 数	産 業		性	
		製 造 業	卸売業・小売業	男	女
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
加入している	21.0	23.8	18.3	27.4	15.1
加入していない	79.0	76.2	81.7	72.6	84.9

クラブ・サークル活動に加入している理由については、「内容がよいと思つたから」と答えたものが多く57.6%となつており、つぎが「友人(同性)がほしい」(25.2%)であるが、「異性の友人がほしい」というものもかなりいる(5.2%)。

性別にみると「内容がよいと思つたから」は女子に多く64.6%(男子53.4%)である。男子は「友人がほしい」という者が多く、「同性の友人」30.5%(女子16.5%)、「異性の友人」6.1%(女子3.8%)となつている。年齢別にみると「内容がよいと思つたから」とい

者は、20～24才に多く60.3%（15～19才53.6%）、「同性の友人」がほしいという者は15～19才に多く32.1%（20～24才20.6%）で、「異性の友人」がほしいという者は20～24才に多い（20～24才5.6%、15～19才4.8%）（第42表）。

第42表 勤労青少年のクラブ・サークルへの加入の理由
（M. A.）

（単位 %）

区 分		総 数	内容がよいと思つたから	友人（同性）がほしい	友人（異性）がほしい	その他	不 明
総 数		(210) 100.0	57.6	25.2	5.2	15.2	2.9
性	男	(274) 100.0	53.4	30.5	6.1	18.3	
	女	(151) 100.0	64.6	16.5	3.8	10.1	7.6
年 令	15～19才	(211) 100.0	53.6	32.1	4.8	10.7	2.4
	20～24才	(210) 100.0	60.3	20.6	5.6	18.3	3.2

（注） 括弧内数字はクラブ・サークルに加入している勤労青少年の割合

つぎにクラブ・サークル活動に加入しない者について、その理由をきいたところ、「時間、金がない」と答えた者が多く43.9%で、「自分に合つたものがない」と答えた者がこれにつぎ41.8%である。

産業別にみると、製造業では「自分に合つたものがない」が多く49.1%（卸売業・小売業35.2%）、卸売業・小売業では「時間、金がない」が多い（卸売業・小売業49.6%、製造業37.6%）。

性別にみると、男子は「自分に合つたものがない」と答えた者が多く

第43表 勤労青少年のクラブ・サークルに加入しない理由 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	自分に合 つたもの がない	時間、金 がない	会社がよ い顔をし ない	その他	不 明
総 数	(79.0) 100.0	41.8	43.9	0.8	9.0	5.4
産 業	製造業 (76.2) 100.0	49.1	37.6	1.1	7.7	5.1
	卸売業・ 小売業 (81.7) 100.0	35.2	49.6	0.5	10.1	5.8
性	男 (72.6) 100.0	43.8	41.5	0.3	9.5	6.1
	女 (84.9) 100.0	40.2	45.8	1.1	8.6	5.0

(注) 括弧内数字はクラブ・サークルに加入していない勤労青少年の割合

第44表 勤労青少年のクラブ・サークルの種類 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	文化関係	体育関係	親睦関係	その他	不 明
総 数	100.0	45.7	19.5	34.8	8.1	1.4
性	男 100.0	58.8	14.5	29.8	6.1	
	女 100.0	24.1	27.8	43.0	11.4	3.8
年 令	15~19才 100.0	57.1	15.5	25.0	7.1	1.2
	20~24才 100.0	38.1	22.2	41.3	8.7	1.6

(男子43.8%、女子40.2%)、女子は「時間、金がない」と答えた者が多い(女子45.8%、男子41.5%)(第43表)。

—クラブ・サークルの種類—

勤労青少年の加入しているクラブ・サークルの種類をみると、文化関係のクラブ・サークルが最も多く、加入者の45.7%を占めており、親睦関係のクラブ・サークルは34.8%、体育関係のクラブ・サークルは

19.5%である。

参考までに前掲「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」(昭和43年10月)をみると、体育関係が多く46.0%、文化関係34.1%、親睦関係18.2%となつている。

性別にみると、男子は文化関係が最も多く、親睦関係、体育関係の順となつているが、女子は、親睦関係が最も多く、体育関係、文化関係の順となつている。年齢別には、15～19才は文化関係が最も多く、20～24才では親睦関係が多い(第44表)。

—クラブ・サークルの性格—

勤労青少年の加入しているクラブ・サークルについて「誰がつくつたものですか」と質問したところ、「学校の仲間がつくつたもの」が多く(20.0%)、ついで「職場の仲間がつくつたもの」(19.0%)、「職場外の仲間がつくつたもの」(18.6%)、「市や町がつくつたもの」(18.1%)、「同郷の仲間がつくつたもの」(16.7%)となつており、「事業所がつくつたもの」は6.2%ある。

性別にみると、男子は「職場の仲間がつくつたもの」と「学校の仲間がつくつたもの」に加入しているものが多く、女子は「職場外の仲間がつくつたもの」に加入しているものが多い(第45表)。

第45表 勤労青少年のクラブ・サークルの性格 (M. A.)

性	総数	(単位 %)							
		事業所でつたもの	労働組合でつたもの	職場の間でつたもの	学校の仲間間でつたもの	職場外の仲間間でつたもの	同郷の間でつたもの	市や町でつたもの	政治、宗教団体のつくつたもの
総数	1000	6.2	1.0	19.0	20.0	18.6	16.7	18.1	4.3
男	1000	6.9	0.8	22.1	22.1	16.0	15.3	17.6	4.6
女	1000	5.1	1.3	13.9	16.5	22.8	19.0	19.0	3.8
									その他
									不明
									1.4
									0.8
									2.5

＜参 考＞

勤労青少年 (15~19才) のクラブ・サークルの性格 (全国計) (M. A.)

性	総数	(単位 %)							
		事業所でつたもの	労働組合でつたもの	職場の間でつたもの	学校の仲間間でつたもの	職場外の仲間間でつたもの	同郷の間でつたもの	市や町でつたもの	政治、宗教団体のつくつたもの
総数	(302) 1000	35.8	4.5	18.9	16.6	10.8	5.4	6.9	3.5
男	(346) 1000	29.4	3.6	27.0	18.2	10.3	5.6	8.6	3.4
女	(277) 1000	40.3	5.2	13.2	15.6	11.2	5.3	5.7	3.6
									その他
									4.8
									3.7
									5.6

資料出所 「青少年労働者の職業意識と余暇活動に関する調査」昭和43年10月 労働省婦人少年局

(4) 教養・娯楽のための経費等

1) 教養・娯楽費

勤労青少年の教養・娯楽のための1カ月当たりの経費は平均額7,288円となつてゐる。居住状況別にみると、「寄宿舍・寮」居住者が最も高く9,875円、「下宿」7,339円、「親元」7,254円で最も少ないのは「住込み」の5,453円である。

性別の平均額は男子8,942円、女子5,743円とかなりの差がみられる。居住状況別にみても最も男女差の大きいのは「寄宿舍・寮」で男子10,714円に対し、女子4,000円となつてゐる。

年令別の平均額は、15～19才5,850円、20～24才8,263円である。居住状況別にみると「寄宿舍・寮」に最も年令間格差がみられ、15～19才5,250円であるが20～24才は14,500円である(第46表)。

第46表 勤労青少年の教養・娯楽費の平均額

(単位 円)

区 分		総 数	住 込 み	寄 宿 舎 ・ 寮	下 宿	親 元
総 数		7,288	5,453	9,875	7,339	7,254
性	男	8,942	5,571	10,714	9,061	8,908
	女	5,743	5,350	4,000	5,833	5,738
年 令	15～19才	5,850	4,813	5,250	5,846	5,897
	20～24才	8,263	6,186	14,500	8,105	8,222

つぎに教養・娯楽費の分布をみると、5,000～10,000円未満というものが24.9%、2,000～5,000円未満22.7%、10,000～15,000円未満21.9%である。15,000円以上は12.3%あるが、一方、2,000円未満というものも9.7%を占めている。性別にみ

第47表 勤労青少年の救養・娯楽費の分布

(単位 円)

区 分	総 数	2,000円 未 満						2,000円以上 5,000円未満		5,000円以上 10,000円未満		10,000円以上 15,000円未満		15,000円以上 20,000円未満		20,000円以上		不 明
		9.7						22.7		24.9		21.9		5.3		7.0		
性	男	8.6						16.5		22.6		26.0		7.5		12.1		6.7
	女	10.7						28.4		27.0		18.2		3.3		2.3		10.1
年	15～19才	13.8						27.8		26.1		18.3		3.2		3.3		7.5
令	20～24才	7.0						19.3		24.1		24.3		6.7		9.5		9.1

第48表 勤労青少年の平均貯金額

(単位 円)

区分	総数	数	住込み	寄宿舎・寮	下宿	親元
総	数	8,622	10,556	11,429	7,636	8,768
性	男	10,237	11,750	13,200	9,863	10,239
	女	7,254	9,600	7,000	6,040	7,506
年	15~19才	7,864	10,667	7,500	5,797	8,190
令	20~24才	9,053	10,500	35,000	8,257	9,175

ると男子は5,000円～15,000円未満が約5割となつているが、女子は3,000円～10,000円未満が多く55.4%である(第47表)。

2) 貯金額

勤労青少年の1カ月当たりの貯金の状況をみると84.4%の者が貯金をしており、その平均額は8,622円である。居住状況別にみると「寄宿舍・寮」が最も多く11,429円、「住込み」10,556円、「親元」8,768円で「下宿」が最も少なく7,636円となつている。性別にみると、男子は10,337円、女子は7,254円で、とくに「寄宿舍・寮」に居住する者は男女差が目立ち、男子は13,200円で最も高いが、女子は7,000円で、住込みの者(9,600円)よりも貯金額が低い(第48表)。

つぎに貯金額の分布をみると、5,000～10,000円未満23.3%、10,000～15,000円未満21.7%、2,000～5,000円未満9.4%となつており、2,000円未満は2.7%であるが、一方、15,000円以上というものが10.4%を占めている。

性別にみると、貯金をしている者の割合は女子が多いが10,000円以上は男子は38.3%であるが、女子は26.9%となつている。

年令別では、10,000円以上の貯金をするものは20～24才に多い(第49表)。

(5) 勤労青少年のなやみごとなど

「あなたはなやみごとや心配ごとがありますか」との質問に対して、調査対象となつた勤労青少年の75.8%が「ある」と答えており、女子になやみのあるものが多い(男子70.1%、女子81.0%)。なやみごとなどの内容として最も多いのは「仕事のこと」で49.5%で、ついで「お金のこと」(28.1%)、「異性のこと」(27.3%)、「家族のこと」(25.7%)、「友人や仲間のこと」(23.1%)、「性格のこと」(23.0%)、「健康のこと」(20.3%)、「勉強や進学のこと」(15.6%)となつ

第49表 勤労青少年の貯金額の分布

(単位 %)

区分	総数	貯 金 額							不明	なし
		小計	2,000円未満	2,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 25,000円未満		
総数	(1000)	(844) 1000	2.7	9.4	25.5	21.7	5.3	5.6	32.5	(15.6)
性別	男	(808) 1000	2.1	4.7	20.5	22.5	5.4	10.6	54.4	(19.2)
	女	(872) 1000	3.5	14.5	25.7	21.2	2.4	5.5	30.8	(12.5)
年齢	15~19才	(724) 1000	4.9	11.6	24.5	17.5	5.2	5.8	52.7	(22.6)
	20~24才	(890) 1000	1.5	8.1	22.8	24.1	4.1	7.1	32.5	(11.6)

第50表 勤労青少年のなやみごと(M・A・)

(単位 %)

区 分	総 数	小 計	な や み ご と と び あ る										なやみごとはい		
			職業や趣味のこと	仕事のこと	家族のこと	友人や仲間のこと	異性のこと	お金のこと	政治や社会のこと	性格のこと	健康のこと	得意のこと		その他	不 当
性 別	総 数	(758) (1000)	15.6	49.5	25.7	25.1	27.5	28.1	6.7	25.0	20.5	7.4	2.8	0.1	(24.2)
	男	(681) (1000)	18.2	51.5	25.4	17.0	25.7	29.9	9.5	16.1	19.7	4.2	2.1	0.5	(29.9)
女	(810) (1000)	15.5	48.0	26.0	27.9	28.6	26.7	4.7	28.4	20.8	9.9	5.5			(19.0)
年 令	15~19才	(659) (1000)	25.1	45.2	29.5	31.6	27.0	28.5	7.2	25.1	24.0	5.7	1.5		(34.1)
	20~24才	(824) (1000)	10.5	51.7	23.8	18.6	27.5	27.9	6.5	21.8	18.4	8.5	3.4	0.2	(12.6)

つている。

性別にみると男女ともに「仕事のこと」が最も多いが（男子51.3%、女子48.0%）、男子は2位「お金のこと」、3位「異性のこと」、4位「家族のこと」となっているが、女子は2位「異性のこと」、3位「性格のこと」、4位「友人や仲間のこと」となっており、「お金のこと」「家族のこと」をあげているものが相対的に低くなっている。年令別にみると、なやみがあるものは20～24才に多く（15～19才65.9%、20～24才82.4%）、仕事のことではやんでいるものが、両者ともに多い。「友人や仲間のこと」および「勉強や進学のこと」をあげているものは、前者は15～19才31.6%に対し20～24才18.6%、後者は15～19才25.1%、20～24才10.5%である（第50表）。

<参 考>

勤労青少年(15～24才)のなやみごと(M. A.) (全国計)

総 数	な や み ご と が あ る													なやみ ことはない	不 明
	小 計	勉強や 進学のこと	就職 のこと	仕事 のこと	家族 のこと	友人や 仲間のこと	異性 のこと	お金 のこと	政治や 社会のこと	性格 のこと	健康 のこと	容姿 のこと	その他		
(1000)	(885)													(11.2)	(0.3)
	100.0	3.5	5.2	45.8	22.9	15.1	20.2	22.3	9.7	20.5	18.3	5.1	9.5		

(注) 勤労青少年には、家族従業者を含む。

資料出所 「青少年の連帯感などに関する調査」

昭和45年11月 総 理 府

(6) なやみごとの相談相手

なやみごとなどをもつ勤労青少年の89.7%は相談相手をもっており、相談相手としては友人をあげている者が比較的多い。「なやみごとをだれに相談しますか」との質問に対して、「職場の友だち」をあげるものが多い32.2%、「近所や学校の友だち」21.6%、ついで「母」20.7%、

第51表 勤労青少年のなやみごととの相談相手(M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	父	母	きょうだい	祖父はま たは祖母 の者	先 生	学校の先輩	職場の上 役や先輩	職場の 友だち	近所や 学級の 友だち	団体やグル ープなどの 仲間	その他	相談す る人が いない	不 明
総 数	1000	6.5	20.7	16.1	5.7	1.7	2.1	6.6	52.2	21.6	7.1	7.7	9.5	0.8
性 別														
男	1000	11.0	17.0	12.5	2.7	2.1	2.4	8.1	28.1	19.1	6.0	8.7	11.6	1.5
女	1000	2.8	23.6	18.9	4.5	1.4	1.9	5.4	35.5	23.6	8.0	6.9	7.8	0.2
年 齢														
15~19才	1000	8.4	25.9	16.0	2.3	2.3	5.0	5.0	36.9	27.0	7.2	7.2	11.4	
合 計	1000	5.5	18.0	16.2	4.4	1.4	1.6	8.5	29.7	18.8	7.1	7.9	8.5	1.2

「きょうだい」16.1%、「団体やグループなどの仲間」7.1%の順になっており、「父」をあげたものは6.5%である。

性別にみると「父」と答えたものは男子に多く（男子11.0%、女子2.8%）、「母」を相談相手にしているものは女子に多い。相談相手がいないと答えたものは男子に多くなっている（男子11.6%、女子7.8%）年齢別にみると、年齢の低い層（15～19才）に父母を相談相手としているものが多い一方、「職場の友だち」や「近所や学校の友だち」をあげているものが多い（第51表）。

參 考 資 料

一 統 計 表 一

一 調 查 票 一

第1表 産業、事業所規模および学校の種類、援助の内容別事業所の構成

区分	総数	定時制高校				通信制高校				各種学校				公共職業訓練施設				(単位等)		
		時間的 援助	学費等 経済的 援助	その他	特別援 助はして いない	時間的 援助	学費等 経済的 援助	その他	特別援 助はして いない	時間的 援助	学費等 経済的 援助	その他	特別援 助はして いない	時間的 援助	学費等 経済的 援助	その他	特別援 助はして いない	時間的 援助	学費等 経済的 援助	その他
総数	(657) 1000	63.6	4.3	2.7	7.1	3.8			2.2	25.5	2.2	1.6	8.2	7.6	1.1	1.1	4.9	9.2	2.2	1.6
製造業	(659) 1000	68.5	3.7	1.9	9.3	11.1			1.9	20.4	1.9	1.9	9.3	11.1	1.9	1.9	9.3	11.1	1.9	1.9
卸売業・ 小売業	(657) 1000	61.5	4.6	3.1	6.2	0.8			2.3	27.7	2.3	1.5	7.7	6.2	0.8	0.8	3.1	8.5	2.3	1.5
事業所規模	(73.0) 1000以上	70.4	7.4	7.4	7.4	14.8			3.7	11.1	3.7		14.8	11.1	3.7	3.7	11.1	11.1	3.7	3.7
30～99人	(697) 1000	69.6	4.3	2.2	10.9	4.3			2.2	28.3	2.2	2.2	6.5	2.2			6.5	6.5		2.2
5～29人	(627) 1000	59.5	3.6	1.8	5.4	0.9			1.8	27.9	1.8	1.8	7.2	9.0	0.9	0.9	2.7	9.9	2.7	0.9

(注) 1.括弧内数字は、通学等を奨励している事業所の割合
2.時間的援助………終業時刻の繰上げ、有給で早退を認める等時間的に便宜を与えているもの
3.学費等経済的援助……奨学金制度、学費の負担補助等経済的に援助を与えているもの

第2表 福利厚生施設の過不足の状況別事業所の構成

(単位 %)

区分	図書室	娯楽室	集会室	休養施設	休養室	卓球施設	テニスコート	バレーコート	バスケットコート	野球場
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
余地あり	11.1	16.2	10.4	22.2	6.4)	4.0		5.6		
適当	16.7	21.6	24.1	22.2	16.7	37.3	50.0	22.2	33.3	30.0
不足	38.9	24.3	13.8		32.0	13.3		11.1		20.0
不明	33.3	37.9	51.7	55.6	44.9	45.4	50.0	61.1	66.7	50.0

(注) ※印はサンプル数が少ないので取扱い上注意を要する。

第3表 産業、事業所規模および借用施設の有無別事業所の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分		総 数	※ あ り			な し	不 明
			小 計	体育施設	教 養 娯楽施設		
総 数		(100.0)	(7.5) 100.0	85.7	28.6	(91.4)	(1.1)
産 業	製 造 業	(100.0)	(15.9) 100.0	84.6	23.1	(82.9)	(1.2)
	卸売業・小売業	(100.0)	(4.0) 100.0	87.5	37.5	(95.0)	(1.0)
事 業 所 規 模	100人以上	(100.0)	(20.0) 100.0	100.0		(80.0)	
	30 ～ 99人	(100.0)	(9.1) 100.0	66.7	33.3	(87.9)	(3.0)
	5 ～ 29人	(100.0)	(4.0) 100.0	85.7	42.9	(95.5)	(0.5)

(注) ※印は、サンプル数が少ないので取扱い上注意を要する。

第4表 産業、事業所規模および借用施設の所有者別事業所の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	体 育 施 設				教 養 娛 楽 施 設			
		小 計	学 校	公 営	他企業	小 計	学 校	公 営	他企業
総 数	(100.0)	(85.7) 100.0	66.7	22.2	11.1	(28.6) 100.0	16.7	33.3	50.0
産 業	製 造 業	(100.0)	(84.6) 100.0	63.6	27.3	9.1	(23.1) 100.0		100.0
	卸売業・ 小売業	(100.0)	(87.5) 100.0	71.4	14.3	14.3	(37.5) 100.0	33.3	66.7
事業所規模	100人以上	(100.0)	(100.0) 100.0	87.5	12.5		(12.5) 100.0		100.0
	30~99人	(100.0)	(66.7) 100.0	50.0	25.0	25.0	(33.3) 100.0		100.0
	5~29人	(100.0)	(85.7) 100.0	50.0	33.3	16.7	(42.9) 100.0	33.3	66.7

(注) 本表はサンプル数が少ないので取扱い上注意を要する。

第5表 産業、事業所規模およびレクリエーション行事の有無別事業所の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分		総 数	行 事 あ り				行事なし
			小 計	主 催			
				事業所	加盟団体	不 明	
総 数		(100.0)	(84.3) 100.0	96.6	7.6	0.4	(15.7)
産 業	製 造 業	(100.0)	(89.0) 100.0	94.5	11.0	1.4	(11.0)
	卸売業・ 小 売 業	(100.0)	(82.3) 100.0	97.5	6.1		(17.7)
事業所規模	100人以上	(100.0)	(94.6) 100.0	100.0	11.4		(5.4)
	30～99人	(100.0)	(95.5) 100.0	95.2	12.7		(4.5)
	5～29人	(100.0)	(78.0) 100.0	96.4	4.3	0.7	(22.0)

第6表 「クラブ・サークル活動あり」事業所における勤労青少年の参加状況別事業所の構成

(単位 %)

参加状況	文 化 関 係					体 育 関 係						※ その他		
	※ 読書	※ コーラス	※ 和洋裁	茶・ 華道	囲碁・ 将棋	※ その他	野球	卓球	※ テニス	※ バドミントン	バレー ボール		ボウ リング	※ ハ ン ギ ン グ
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
多 い	33.3	14.3	33.4	18.2	15.4	14.3	44.1	44.7	25.0	50.0	31.2	43.5	10.0	50.0
普 通	66.7	57.1	33.3	18.2	43.6	28.6	41.6	50.0	37.5	50.0	53.1	37.0	40.0	33.3
少 な い		28.6	33.3	54.5	25.6	57.1	6.5		12.5		9.4	6.5	30.0	
不 明				9.1	15.4		7.8	5.3	25.0		6.3	13.0	20.0	16.7

(注) ※印はサンプル数が少ないので取扱い上注意を要する。

第7表 産業、事業所規模、性、年齢および居住状況別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分	総 数	居 住 状 況								
		住込み	事業所の 寄宿舍・寮	ア パ ー ト、 間 借、 下 宿					親 元	不 明
				小 計	1人で	友人と	兄 弟 姉妹と	不 明		
総 数	(100.0)	(1.6)	(1.6)	(20.2) 100.0	41.6	8.9	46.0	3.5	(74.4)	(2.2)
製 造 業	(100.0)	(1.0)	(1.6)	(18.1) 100.0	40.4	4.5	50.6	4.5	(77.1)	(2.2)
卸 売 業 ・小売業	(100.0)	(2.1)	(1.6)	(22.2) 100.0	42.5	12.4	42.5	2.6	(71.9)	(2.2)
100人以上	(100.0)	(0.5)	(0.5)	(18.6) 100.0	34.2	9.2	51.4	5.2	(77.7)	(2.7)
30~99人	(100.0)	(2.4)	(3.0)	(21.0) 100.0	45.7	7.1	42.9	4.3	(71.8)	(1.8)
5~29人	(100.0)	(2.3)	(1.6)	(21.6) 100.0	46.4	10.7	42.9		(72.6)	(1.9)
男	(100.0)	(1.5)	(2.9)	(19.9) 100.0	53.7	7.4	38.9		(72.6)	(3.1)
女	(100.0)	(1.7)	(0.4)	(20.5) 100.0	30.8	10.3	52.4	6.5	(76.1)	(1.3)
15~19才	(100.0)	(2.0)	(2.0)	(16.5) 100.0	27.3	12.1	57.6	3.0	(77.5)	(2.0)
20~24才	(100.0)	(1.3)	(1.3)	(22.7) 100.0	48.5	7.4	40.4	3.7	(72.4)	(2.3)

第8表 性、年令、学歴および仕事の種類別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総 数	機械の操作・ 製造・加工・ 組立・修理	荷造・配達 ・雑用など	事 務	販売・給仕 ・接客・サ ービスなど	そ の 他
総 数		100.0	39.8	7.0	25.5	22.1	5.6
性	男	100.0	47.1	12.1	10.9	20.3	9.6
	女	100.0	33.1	2.3	38.9	23.8	1.9
年 令	15~19才	100.0	47.1	8.0	14.0	26.1	4.8
	20~24才	100.0	34.9	6.3	33.1	19.5	6.2
学 歴	中 学 卒	100.0	64.3	9.5	2.4	18.8	5.0
	高 校 卒	100.0	24.2	5.4	39.2	24.8	6.4
	短大卒以上	100.0	3.2	3.2	68.2	22.2	3.2

第9表 産業、性、年令、学歴および離職経験の有無、回数別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総 数	最初の勤め先	離 職 経 験 あ り			
				小 計	2 回 目	3~4 回 目	5 回 目 以上
総 数		(100.0)	(49.1)	(50.9) 100.0	59.5	36.6	3.9
産 業	製 造 業	(100.0)	(52.6)	(47.4) 100.0	59.2	38.2	2.6
	卸 売 業・ 小 売 業	(100.0)	(45.7)	(54.3) 100.0	59.8	35.1	5.1
性	男	(100.0)	(47.1)	(52.9) 100.0	53.0	41.1	5.9
	女	(100.0)	(51.0)	(49.0) 100.0	66.0	32.0	2.0
学 歴	中 学 卒	(100.0)	(43.9)	(56.1) 100.0	58.5	36.8	4.7
	高 校 卒	(100.0)	(51.7)	(48.3) 100.0	60.7	36.5	2.8
	短大卒以上	(100.0)	(61.9)	(38.1) 100.0	58.4	33.3	8.3

第10表 産業、事業所規模および最初の勤め先の離職理由別勤労青少年の構成 (M. A.)

		(単位 %)										
区 分	総 数	約束と 違つた	労働時間 が長い 残業が多かつた	給 料 が 安かつた	職場の福 利施設が 悪かつた	上司、同 僚と合わ なかつた	仕事が自 分に合わ なかつた	昇進の見 通しがな かつた	他の事業所 から誘われ たといふ 思つた	そ の 他	明 不	
総 数	1000	11.8	22.2	33.8	8.3	10.6	34.4	7.5	3.9	19.1	0.6	
産 製 造 業	1000	13.7	26.6	34.3	8.2	8.6	30.5	7.3	4.7	18.5	1.3	
業 卸 売 業 ・ 小 売 業	1000	10.1	18.5	33.3	8.3	12.3	37.7	7.6	3.3	19.6		
事 業 所 規 模	100人以上	11.1	23.7	35.3	12.1	11.1	33.7	7.9	5.3	14.2	0.5	
	30～99人	13.6	24.3	33.7	4.7	7.7	34.3	7.7	4.1	22.5	0.6	
	5～29人	10.7	18.0	32.0	7.3	13.3	35.3	6.7	2.0	21.3	0.7	

第11表 産業、事業所規模、年令、学歴および転職希望の有無別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分	総 数	今のまま でよい	仕方が ないから 続ける	自立して 仕事を 始めたい	結 婚 した ら やめたい	勤め先を変えたい				わからない
						小 計	転 職 希 望 地			
							県 内	県 外	不 明	
総 数	(100.0)	(28.9)	(3.5)	(8.1)	(6.4)	(24.4) 100.0	46.3	23.0	30.7	(28.7)
産 業	(100.0)	(28.4)	(3.5)	(5.5)	(5.7)	(24.6) 100.0	41.5	28.1	30.6	(32.5)
製造業・ 卸売業・ 小売業	(100.0)	(29.5)	(3.6)	(10.6)	(7.1)	(24.2) 100.0	51.2	17.9	30.9	(25.2)
事業所規模	(100.0)	(26.9)	(4.2)	(8.6)	(6.9)	(24.5) 100.0	44.0	25.0	31.0	(28.9)
100人以上	(100.0)	(29.7)	(3.6)	(7.2)	(6.3)	(25.5) 100.0	44.7	25.9	29.4	(27.7)
30～99人	(100.0)	(30.9)	(2.3)	(8.5)	(5.8)	(22.8) 100.0	52.5	15.3	32.2	(29.7)
5～29人	(100.0)	(29.1)	(3.7)	(5.5)	(3.0)	(25.6) 100.0	40.2	29.4	30.4	(33.1)
15～19才	(100.0)	(28.8)	(3.3)	(9.8)	(8.7)	(23.6) 100.0	50.7	18.3	31.0	(25.8)
20～24才	(100.0)	(32.1)	(3.1)	(5.2)	(4.0)	(24.7) 100.0	41.4	26.9	31.7	(30.9)
学 卒	(100.0)	(26.8)	(3.9)	(9.1)	(8.3)	(24.4) 100.0	48.4	20.6	31.0	(27.5)
高 校 卒	(100.0)	(25.4)	(3.2)	(19.1)	(6.3)	(22.2) 100.0	64.3	14.3	21.4	(23.8)
短大卒以上										

第12表 産業、事業所規模、勤続年数、性、年齢、学歴および転職希望の理由別勤労青少年の構成 (M.A.)

(単位 %)

区分	総数	約束と 違う	労働時間 が長い 残業が多い	給料が 安い	職場の 施設福 利施設 が悪い	上司・同 僚と合 わえない	仕事 が自 分に 合 わない	仕事 が 単調 で ある	仕事 の 社会的 価値が 低い	昇進の 見通し がない	他の事業 所から誘 われてお り上とい えぬ	その他	不明
総数	1000	4.1	13.1	58.2	16.0	6.1	32.4	23.4	8.6	8.6	1.6	6.6	0.8
産業	1000	4.1	9.9	63.6	16.5	9.1	30.6	29.8	10.7	7.4	0.8	3.3	0.8
製造業・ 卸売業・ 小売業	1000	4.1	16.3	52.8	15.4	3.3	34.1	17.1	6.5	9.8	2.4	9.8	0.8
事業所規模	1000	1.0	15.0	65.0	15.0	8.0	34.0	27.0	9.0	3.0	2.0	4.0	1.0
100人以上	1000	7.1	9.4	62.4	18.8	3.5	29.4	21.2	10.6	15.3	2.4	7.1	1.7
30~99人	1000	5.1	15.3	40.7	13.6	6.8	33.9	20.3	5.1	8.5		10.2	
5~29人	1000	1.1	13.0	56.5	10.9	5.4	44.6	17.4	6.5	7.6	3.3	9.8	1.1
1年未満	1000	11.1	13.0	64.8	14.8	7.4	20.4	25.9	13.0	9.3		7.4	1.9
1~2年未満	1000	4.3	6.4	61.7	14.9	2.1	34.0	25.5	10.6	6.4	2.1		
2~3年未満	1000	2.0	19.6	51.0	27.5	9.8	21.6	29.4	5.9	11.8		5.8	
3年以上	1000	4.3	16.3	56.5	16.3	6.5	31.5	20.7	6.5	10.9	2.2	6.5	
男	1000	3.9	11.2	59.2	15.8	5.9	32.9	25.0	9.9	7.2	1.3	6.6	1.3
女	1000	5.9	13.7	63.7	9.8	5.9	40.2	19.6	9.8	7.8	1.0	3.9	1.0
年齢	1000	2.8	12.7	54.2	20.4	6.3	26.8	26.1	7.7	9.2	2.1	8.5	0.7
15~19才	1000	6.7	13.5	64.4	15.4	4.8	27.9	16.3	10.6	4.8		5.8	1.0
20~24才	1000	1.6	10.3	54.8	17.5	7.1	35.7	27.8	6.3	11.9	2.4	5.6	0.8
中学卒	1000	7.1	35.7	42.9	7.1	7.1	35.7	35.4	14.3	7.1	7.1	21.4	
高校卒	1000												
短大卒以上	1000												

第13表 産業、勤続年数、性、年令、学歴および仕事に興味の有無別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

区分	総数	興味あり						興味がない	何とも いない
		小計	仕事に変 化がある	仕事に社 会的意義 がある	仕事に自 分が注が れる	仕事に自 分に合っ ている	その他		
総数	(1000)	(34.7) 1000	12.4	13.3	30.3	42.1	5.2	(16.4)	(48.9)
産業	(1000)	(31.1) 1000	10.5	9.8	28.1	47.1	4.6	(18.5)	(50.4)
業	(1000)	(38.2) 1000	13.9	16.0	32.0	38.1	2.1	(14.4)	(47.4)
卸売業・小売業	(1000)	(36.7) 1000	14.0	16.9	26.5	38.2	3.7	(14.9)	(48.4)
勤	(1000)	(33.7) 1000	12.5	8.0	34.1	42.0	5.7	(16.1)	(50.2)
続	(1000)	(29.9) 1000	10.6	12.8	36.2	46.8		(21.7)	(48.4)
年	(1000)	(35.8) 1000	10.5	13.2	28.9	46.1	1.3	(15.6)	(48.6)
数	(1000)	(42.5) 1000	14.8	12.8	33.5	38.9	3.4	(14.2)	(43.3)
性	(1000)	(27.6) 1000	9.0	13.9	25.7	46.5	2.8	(18.4)	(54.0)
男	(1000)	(30.8) 1000	12.2	11.4	29.3	42.3	4.1	(18.6)	(50.6)
女	(1000)	(37.3) 1000	12.5	14.3	30.8	42.0	2.7	(15.0)	(47.7)
年令	(1000)	(31.4) 1000	6.1	9.8	28.8	53.0	2.3	(20.6)	(48.0)
15～19才	(1000)	(35.5) 1000	14.2	14.2	32.2	38.3	3.8	(13.6)	(50.9)
20～24才	(1000)	(50.8) 1000	28.1	21.9	25.0	18.8	3.1	(11.1)	(38.1)
中学卒	(1000)								
高校卒	(1000)								
短大卒以上	(1000)								

第14表 産業、年齢、学歴および職場でのなやみことの有無別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	な や み こ と が あ る							なやみこ とばない
		小 計	労働時間 給料のこと など	上司や仲 間の人間 関係	学歴が重 視される こと	適性配置 のこと	取った資 格が評価 されない こと	そ の 他	
総 計	(1000)	(604) 1000	63.6	42.5	5.1	13.1	5.8	3.1	(39.6) 0.5
産 業	(1000)	(606) 1000	63.1	41.6	6.4	12.8	4.7	2.7	(49.4) 0.3
製 造 業	(1000)	(602) 1000	64.1	43.5	3.9	13.4	6.9	3.6	(39.8) 0.7
卸売業・小売業	(1000)	(602) 1000	64.1	43.5	3.9	13.4	6.9	3.6	(39.8) 0.7
年 令	(1000)	(566) 1000	65.5	40.7	7.5	11.5	3.1	3.1	(43.4) 0.8
15 ~ 19 才	(1000)	(566) 1000	65.5	40.7	7.5	11.5	3.1	3.1	(43.4) 0.8
20 ~ 24 才	(1000)	(629) 1000	62.4	43.7	3.7	14.0	7.4	3.2	(37.1) 0.8
学 歴	(1000)	(530) 1000	66.8	38.6	11.2	11.2	4.9	2.7	(47.0) 0.9
中 学 卒	(1000)	(530) 1000	66.8	38.6	11.2	11.2	4.9	2.7	(47.0) 0.9
高 校 卒	(1000)	(661) 1000	62.5	44.9	1.8	13.2	5.6	3.2	(33.9) 0.9
短大卒以上	(1000)	(635) 1000	55.0	45.0		22.5	12.5	5.0	(36.5) 0.9

第15表 産業、学歴および職業生活の希望別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

学歴	区分	総数	事業所で働き、早く高い地位につきたい	事業所で働き、自分にとって合った仕事をやっていきたい	事業所で働き、賃金がもらえればよい	技術者、技能者の道を歩みたい	独立して自営業主になりたい	免許資格のある職業につきたい	職業生活には夢も希望もない	その他
学歴	総数	1000	3.3	43.2	3.1	22.8	14.5	11.8	2.0	1.8
	製造業	1000	3.5	45.5	3.3	22.6	10.4	11.6	3.0	2.2
	卸売業・小売業	1000	3.1	40.9	3.0	23.0	18.5	12.0	1.0	1.4
学歴	中学卒	1000	3.8	50.1	4.5	23.0	11.2	5.7	2.4	1.0
	高校卒	1000	2.7	37.8	2.3	24.6	16.9	14.9	1.6	2.3
	短大卒以上	1000	4.8	41.3		6.3	17.5	27.0	3.2	3.2

第16表 職業および仕事と余暇の意識別勤労青少年の構成

(単位 %)

職 種	総 数	仕事だけが生きがい いで余暇は二の次 と思ふ	労働時間中は仕事 にうちこみ余暇は 余暇で楽しむ	余暇を楽しむこと が生きがい、仕事 は生活の手段	そ の 他	不 明
総 数	1000	19	82.5	13.5	0.7	1.6
製 造	1000	3.3	82.9	11.8	0.3	1.7
荷造・配達	1000	2.9	71.4	21.4	1.4	2.9
事務	1000		85.1	13.3	0.8	0.8
販売	1000	1.8	81.0	14.9	0.5	1.8
そ の 他	1000		87.5	7.1	3.6	1.8

第17表 産業、学歴および平日の余暇時間別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分	総 数	2 時 間 未 満	2～5時間未満	5 時 間 以 上	平均 時間
総 数	1000	9.1	71.7	19.2	3.17分
産 業	1000	7.9	72.2	19.9	3.19
製 造 業	1000	10.2	71.3	18.5	3.16
卸売業・小売業	1000	11.9	70.5	17.6	3.12
学 卒	1000	7.0	74.4	18.6	3.19
中 学 校 卒	1000	7.9	57.2	34.9	3.43
高 卒	1000	6.3	81.2	12.5	3.19
短 大 卒 以 上	1000	18.7	50.0	31.3	3.08
住 居	1000	10.9	71.3	17.8	3.13
寄宿舎・寮	1000	8.3	72.6	19.1	3.18
アパルトメント	1000				
元 親	1000				

第18表 学歴、居住および休日の余暇時間別勤労青少年の構成

		(単位%)			
区 分	総 数	5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10時間以上
総 数	100.0	9.9	24.5	20.0	45.6
学 歴	中 学 卒	13.1	24.9	20.0	42.0
	高 校 卒	7.2	25.0	20.1	47.7
	短大卒以上	11.1	17.5	19.0	52.4
居 住	住 込 み	12.5	18.8	31.2	37.5
	寄宿舎・寮	25.0	25.0	18.8	31.2
	アパート	11.9	23.8	16.8	47.5
	親 元	9.1	25.3	20.7	44.9

第19表 年令および余暇利用に関する意識別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位%)

年令	総数	仕事に役立つ ことを学び たい	おけいこ ごときをし たい	読書・研 究で知的 に豊かに なりたい	収集・創作 写真・音楽 など趣味を いかしたい	ピンポン・野 球などスポ ーツをした い	気の合つ た友人と 過ごした い	旅行・キャ ンプ・ハイ キング等を したい	収入のあ る仕事を したい	休養した い	その他
総数	100.0	14.8	26.1	16.4	17.2	28.9	45.0	55.0	8.7	28.5	1.9
15 ~19才	100.0	13.3	21.8	10.5	18.3	35.3	50.6	53.1	8.0	27.3	2.8
20 ~24才	100.0	15.8	29.0	20.3	16.5	24.6	41.3	56.2	9.2	29.3	1.3

第20表 年令および習学状況別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位%)

		学 人 で い る										学んで いない (724)
年 令	総 数	小 計	定時制 通信制 高 校	お 茶 お 花	料 理	洋 裁	自動車 運 転	職 業 訓 練 施 設	簿記・ 珠算等	短 大 第二部	大 学 第二部	その他
総 数	(100.0)	(276) 100.0	21.7	13.0	11.6	14.1	6.2	4.3	4.3	4.3	9.4	18.8
15 ~19才	(100.0)	(276) 100.0	46.4	1.8	4.5	10.0	8.2	1.8	4.5	6.4	5.5	13.6
20 ~24才	(100.0)	(276) 100.0	5.4	20.5	16.3	16.9	4.8	6.0	4.2	3.0	12.0	22.3

第21表 産業、事業所規模、性別および手廻りに利用できる体育、文化関係施設の有無別勤労青少年の構成
(M. A.)

区 分		総 数	あ										ない	不明
			文 化 関 係				体 育 関 係				その他			
			事業所		市の事業所		事業所		市の事業所					
			小 計	事業所	市の事業所	事業所	市の事業所	事業所	市の事業所					
総 数	(100.0)	(22.2) [100.0]	(74.8) 100.0	34.9	1.2	36.7	34.3	[49.1] 100.0	30.3	28	40.4	34.9	(77.2)	(0.6)
産 業	(100.0)	(23.4) [100.0]	(75.7) 100.0	44.8	1.1	37.9	23.0	[52.2] 100.0	45.0	1.7	41.7	21.7	(76.0)	(0.6)
製造業	(100.0)	(21.1) [100.0]	(73.8) 100.0	24.1	1.3	35.4	46.8	[45.8] 100.0	12.2	4.1	38.8	51.0	(78.3)	(0.6)
卸売業・小売業	(100.0)	(20.8) [100.0]	(72.9) 100.0	45.2		35.5	22.6	[58.8] 100.0	40.0		44.0	28.0	(78.2)	(1.0)
事業所規模	(100.0)	(24.9) [100.0]	(73.5) 100.0	37.7		37.7	39.3	[41.0] 100.0	38.2	5.9	35.3	29.4	(75.1)	
5～29人	(100.0)	(20.8) [100.0]	(79.6) 100.0	16.3	4.7	37.2	44.2	[46.3] 100.0		4.0	40.0	56.0	(78.4)	(0.8)
男	(100.0)	(27.8) [100.0]	(92.5) 100.0	40.7	1.6	35.8	31.7	[30.8] 100.0	17.1	2.4	51.2	36.6	(72.2)	
女	(100.0)	(17.1) [100.0]	(48.3) 100.0	18.6		39.5	41.9	[76.4] 100.0	38.2	2.9	33.8	33.8	(81.8)	(1.1)

第22表 産業、事業所規模、年令、学歴および平日の余暇の利用施設

区 分		総 数	事業所 の体育 文化施設	公民館・ 図書館 等	学校の 体 育 施 設	公 園	パチン コ 屋	映画館	商 業 娯		
									マージ ヤン屋	ボウリン グ 場	卓球場
総 数		100.0	1.2	4.3	2.9	5.9	9.3	22.2	1.0	26.9	6.0
産 業	製 造 業	100.0	1.6	3.3	3.0	5.1	8.5	20.9	0.2	26.0	4.5
	卸売業・ 小 売 業	100.0	0.8	5.3	2.8	6.7	10.0	23.4	1.8	27.8	7.5
事 業 所 規 模	100人 以上	100.0	1.5	3.4	2.0	7.4	9.8	20.8	0.2	26.7	5.6
	30～ 99人	100.0	1.5	3.6	3.6	6.6	9.3	22.5	2.1	24.6	5.7
	5～ 29人	100.0	0.4	6.6	3.5	2.7	8.5	23.9	0.8	30.1	6.9
年 令	15～ 19才	100.0	0.8	4.0	4.3	6.8	8.3	22.6		26.8	7.0
	20～ 24才	100.0	1.5	4.5	2.0	5.3	10.0	22.0	1.7	27.0	5.3
学 歴	中 学 卒	100.0	0.7	4.5	2.6	4.5	8.6	24.5	0.2	27.6	6.7
	高 校 卒	100.0	1.7	4.1	3.5	7.2	9.7	20.5	1.0	26.6	5.4
	短 大 卒 以 上	100.0		4.8		4.8	1.1	20.6	6.3	25.4	6.3

等の状況別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

楽 施 設			デパート・ 専門店街	喫茶店	深夜 飲食店	観 劇・ 音楽会	美 術 その他の 展覧会	その他	どれも 利用し ない	不 明
ゴーゴー 喫茶	スラッグ マシン	その他								
3.5	4.1	1.4	22.8	20.1	6.6	2.8	2.9	3.2	27.6	0.1
2.4	3.9	1.2	20.7	13.6	5.7	1.6	2.4	3.9	30.7	
4.5	4.3	1.6	24.6	26.4	7.5	3.9	3.3	2.6	24.6	0.2
3.2	5.1	2.0	25.5	22.3	6.9	1.2	2.9	3.2	24.0	
4.2	3.3	1.2	19.8	15.9	7.2	3.9	3.6	3.6	32.1	0.3
3.1	3.5	0.8	22.4	22.0	5.4	3.9	1.9	2.7	27.4	
4.5	3.5	1.8	19.0	15.8	4.5	2.8	1.5	2.5	33.1	
2.8	4.5	1.2	25.3	23.0	8.0	2.8	3.8	3.7	24.0	0.2
3.8	3.8	0.7	16.2	13.3	3.8	1.7	0.5	3.1	30.6	
3.3	4.1	1.7	28.3	24.2	7.9	3.1	5.2	3.1	25.4	0.2
3.2	6.3	3.2	22.2	31.7	14.3	7.9		4.8	25.4	

第23表 産業、事業所規模、年令、学歴および休日の余暇利用施設等

区 分		総 数	青年の家・ユースホステル等の公共施設	事業所の保養施設	その他の宿泊施設	事業所の体育文化施設	公民館・図書館等	学校の体育施設	商 業			
									公 園	パチンコ屋	映画館	マージン屋
総 数		100.0	0.7	0.4	0.8	0.4	3.6	3.4	6.8	5.6	19.4	0.4
産 業	製 造 業	100.0	1.0	0.4	0.8	0.8	3.0	3.9	4.7	5.1	17.9	0.2
	卸売業・小売業	100.0	0.4	0.4	0.8		4.1	3.0	8.9	6.1	20.9	0.6
事 業 所 規 模	100人	100.0	0.7	0.7	0.5	0.7	2.9	3.9	5.4	6.9	17.9	0.5
	30～99人	100.0	0.9	0.3	0.9	0.3	3.9	2.7	7.5	5.4	20.7	0.3
	5～29人	100.0	0.4		1.2		4.2	3.5	8.1	3.9	20.1	0.4
年 令	15～19才	100.0		0.8	0.5	0.3	3.5	3.8	6.5	4.0	22.6	
	20～24才	100.0	1.2	0.2	1.0	0.5	3.7	3.2	7.0	6.7	17.3	0.7
学 歴	中学卒	100.0	0.7	0.7	0.7	0.5	4.5	3.1	5.2	4.8	22.3	0.2
	高校卒	100.0	0.6	0.2	0.8	0.4	3.1	3.9	8.5	6.8	18.4	0.6
	短大卒以上	100.0	1.6		1.6		1.6	1.6	3.2	1.6	7.9	

の状況別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

娯 楽 施 設					デパート・ 専門店 街	喫茶店	深夜 喫茶店	観 劇・ 音楽会	美術そ 他の 展覧会	その他	どれも 利用し ない
ボウリン グ 場	卓球場	ゴーゴー 喫茶	スラッグ マシン	その他							
18.5	4.8	1.8	2.4	1.1	17.2	10.9	3.9	2.5	2.7	7.4	34.9
19.7	4.5	1.2	2.6	1.0	15.4	9.3	4.9	1.4	1.6	7.7	36.6
17.3	5.1	2.4	2.2	1.2	18.9	12.4	3.0	3.5	3.7	7.1	33.3
18.9	5.9	2.9	3.4	1.0	20.1	11.0	4.4	2.5	2.5	6.9	36.3
20.7	4.2	0.6	1.5	1.2	14.1	11.7	4.5	2.7	2.4	8.4	33.6
15.1	3.9	1.5	1.9	1.2	16.6	9.7	2.3	2.3	3.5	6.9	34.4
21.1	7.0	3.3	2.3	1.3	16.5	9.3	3.0	2.5	3.0	6.3	35.8
16.8	3.3	0.8	2.5	1.0	17.6	12.0	4.5	2.5	2.5	8.2	34.3
22.3	6.4	2.1	2.4	1.0	11.6	8.3	2.9	2.1	2.4	6.7	35.2
16.1	3.7	1.6	2.5	1.4	21.9	12.4	4.7	2.1	3.3	8.5	33.3
12.7	3.2	1.6	1.6		15.9	15.9	4.8	7.9		3.2	46.0

第24表 年令、学歴および希望する余暇利用施設別勤労青少年の構成

区 分	総 数	小 計	希 望									
			青年の家・ユース ホステル等の公共 宿泊施設	保養施 設・宿 泊施設	公 園	勤労青 少年余 暇施設	公民館・ 図書館 等	体 育 施 設	バザン コ屋	映画館	ボウリ ング場	
総 数	(1000)	(66.1) 100.0	12.7	10.4	22.8	3.5	15.7	37.5	1.1	1.4	9.5	
年 令	15～ 19才	(1000)	(65.9) 100.0	12.9	8.0	20.9	4.6	14.4	33.8	1.9	2.7	10.6
令	20～ 24才	(1000)	(66.2) 100.0	12.6	12.1	24.1	2.8	16.6	39.9	0.5	0.5	8.8
学 歴	中学 卒	(1000)	(64.1) 100.0	14.1	6.3	19.3	4.1	13.7	32.6	1.9	2.2	14.8
	高校 卒	(1000)	(67.6) 100.0	10.9	12.9	25.8	3.2	17.5	40.7	0.3	0.9	6.0
	短大卒 以上	(100.0)	(66.7) 100.0	19.0	16.7	21.4	2.4	14.3	42.9	2.4		4.8

(M. A.)

(単位 %)

卓球場	あ り										希 望	不 明
	ゴーゴ ー喫茶	スラック マシン	商業娯 楽施設	デパ ート専門 店街	喫茶店	深 夜 喫茶店	劇 場 音楽会 場	美 術 展覧会 場	その他	不 明	希 望 なし	
10.1	0.6	0.6	3.0	0.5	2.4	0.5	3.3	2.6	0.5	0.3	(22.1)	(118)
14.1	1.1	0.8	3.0	0.4	2.3		2.7	1.5		0.4	(21.1)	(130)
7.5	0.3	0.5	3.0	0.5	2.5	6.8	3.8	3.3	0.8	0.3	(22.8)	(110)
13.7	1.1	1.1	4.1	0.4	2.6		1.9	0.7			(22.6)	(133)
7.4	0.3	0.3	2.6	0.6	2.0	0.9	4.6	4.3	0.9	0.6	(22.1)	(103)
9.5					4.8		2.4				(19.0)	(143)

第25表 事業所規模、年令、学歴およびクラブ・サークル活動への加入
状況別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総 数	加入している	加入していない
総 数		1 0 0.0	2 1.0	7 9.0
事業 所 規 模	100人以上	1 0 0.0	2 1.8	7 8.2
	30～99人	1 0 0.0	2 0.4	7 9.6
	5～29人	1 0 0.0	2 0.5	7 9.5
年 令	15～19才	1 0 0.0	2 1.1	7 8.9
	20～24才	1 0 0.0	2 1.0	7 9.0
学 歴	中 学 卒	1 0 0.0	2 1.6	7 8.4
	高 校 卒	1 0 0.0	2 0.2	7 9.8
	短大卒以上	1 0 0.0	2 3.8	7 6.2

第26表 産業、事業所規模、学歴およびクラブ・サークル加入理由別勤労
青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分		小 計	内容がよいと思つたから	友人(同性)がほしい	友人(異性)がほしい	そ の 他	不 明
総 数		(21.0) 100.0	57.6	25.2	5.2	15.2	2.9
産 業	製 造 業	(23.8) 100.0	56.4	26.5	5.1	15.4	4.3
	卸売業・小売業	(18.3) 100.0	59.1	23.7	5.4	15.1	1.1
事業 所 規 模	100人以上	(21.8) 100.0	48.3	28.1	4.5	16.9	4.5
	30～99人	(20.4) 100.0	70.6	20.6	4.4	14.7	2.9
	5～29人	(20.5) 100.0	56.6	26.4	7.5	13.2	
学 歴	中 学 卒	(21.6) 100.0	58.2	25.3	1.1	12.1	3.3
	高 校 卒	(20.2) 100.0	55.8	26.0	9.6	18.3	2.9
	短大卒以上	(23.8) 100.0	66.7	20.0		13.3	

第27表 事業所規模、年令、学歴およびクラブ・サークルに加入しない理由別勤労青少年の構成

(単位 %)

区 分		総 数	自分に合 つたもの がない	時間・金 がない	会社がよ い顔をし ない	そ の 他	不 明
総 数		(79.0) 100.0	41.8	43.9	0.8	9.0	5.4
事業 所 規 模	100人以上	(78.2) 100.0	45.1	43.6	1.3	7.5	3.4
	30～99人	(79.6) 100.0	37.4	44.5	0.4	12.1	6.4
	5～29人	(79.5) 100.0	42.2	43.7	0.5	7.3	7.3
年 令	15～19才	(78.9) 100.0	42.5	43.8	1.0	8.9	5.1
	20～24才	(79.0) 100.0	41.3	44.0	0.6	9.1	5.7
学 歴	中 学 卒	(78.4) 100.0	49.1	35.5	1.2	7.6	7.9
	高 校 卒	(79.8) 100.0	36.7	50.0	0.5	9.7	3.6
	短大卒以上	(76.2) 100.0	35.4	50.0		12.5	4.2

第28表 産業、事業所規模、学歴およびクラブ・サークルの
種類別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分		総 数	文化関係	体育関係	親睦関係	その 他	不 明
総 数		100.0	45.7	19.5	34.8	8.1	1.4
産 業	製 造 業	100.0	41.9	18.8	36.8	10.3	1.7
	卸売業・小売業	100.0	50.5	20.4	32.3	5.4	1.1
事業所規模	100人以上	100.0	44.9	22.5	34.8	6.7	2.2
	30～99人	100.0	50.0	11.8	41.2	7.4	1.5
	5～29人	100.0	41.5	24.5	26.4	11.3	
学 歴	中 学 卒	100.0	47.3	22.0	27.5	5.5	1.1
	高 校 卒	100.0	45.2	18.3	38.5	9.6	1.9
	短大卒以上	100.0	40.0	13.5	53.3	13.3	

第29表 年令、学歴およびクラブ・サークルの性格別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

区 分	総 数	事業所 でつく ったもの	労働組合 でつく ったもの	職場の仲 間でつく ったもの	学校の仲 間でつく ったもの	職場外の 仲間につ くったもの	同郷の仲 間でつく ったもの	市や町で つくった もの	政治宗教 団体につ くったもの	そ の 他	不 明
総 数	100.0	6.2	1.0	19.0	20.0	18.6	16.7	18.1	4.3	2.4	1.4
年 令											
15~19才	100.0	4.8	1.2	13.1	32.1	9.5	13.1	23.8	2.4	2.4	
20~24才	100.0	7.1	0.8	23.0	11.9	24.6	19.0	14.3	5.6	2.4	2.4
学 歴											
中 学 卒	100.0	4.4	1.1	13.2	33.0	8.8	13.2	22.0	3.3	2.2	1.1
高 校 卒	100.0	7.7	1.0	22.1	8.7	26.9	20.2	17.3	3.8	1.9	1.9
短大卒以上	100.0	6.7		33.3	20.0	20.0	13.3		13.3	6.7	

第30表 学歴、居住および教養・娯楽費の分布別勤労青少年の構成

区分	総数	2000円未満	2000円以上					不明
			2000円未満	5000円未満	10000円未満	15000円未満	20000円以上	
総数	100.0	9.7	22.7	24.9	21.9	5.3	7.0	8.5
学歴								
中学校卒	100.0	12.4	26.4	24.0	19.0	4.5	4.0	9.7
高等学校卒	100.0	8.1	20.0	26.4	24.0	6.6	7.9	7.0
短大卒以上	100.0	4.8	20.6	18.0	23.8		19.1	12.7
居住								
住込み	100.0	6.2	31.3	31.3	25.0			6.2
寄宿舎・寮	100.0	6.2	37.5	12.5	18.8	12.5	12.5	
下宿	100.0	5.0	24.3	25.2	21.8	5.9	6.9	10.9
親元	100.0	11.0	21.6	25.1	22.1	4.9	7.0	8.3

(単位 %)

第31表 学歴および居住別 勤労青少年の平均教養娯楽費

学歴	総数	住込み	寄宿舎・寮	下宿	親元
総数	7,288	5,453	9,875	7,339	7,254
中学校卒	5,469	5,611	9,167	6,315	5,076
高等学校卒	2,465	5,217	12,667	7,865	8,620
短大卒以上	2,518		10,000	10,188	9,391

(単位 円)

第32表 学歴、居住および貯金額の分布別勤労青少年の構成

(単位 %)

区分	総数	小計	貯金					あり			不明	なし
			2000円未満	2000円以上 5000円未満	5000円以上 10000円未満	10000円以上 15000円未満	15000円以上 20000円未満	20000円以上	20000円以上	20000円以上		
総数	(100.0)	(84.4) 100.0	2.7	9.4	23.3	21.7	3.8	6.6	32.5	(15.6)		
学歴												
中学卒	(100.0)	(84.8) 100.0	3.4	10.1	21.8	16.8	2.2	5.6	40.1	(15.2)		
高校卒	(100.0)	(83.9) 100.0	2.5	8.8	25.2	24.3	4.8	6.5	27.9	(16.1)		
短大卒以上	(100.0)	(85.7) 100.0		9.3	18.5	33.3	5.6	14.8	18.5	(14.3)		
居住												
住込み	(100.0)	(93.8) 100.0	6.7	6.7	6.7	26.6		13.3	40.0	(6.2)		
寄宿舎・寮	(100.0)	(75.0) 100.0	8.3	8.3		33.4		8.3	41.7	(25.0)		
下宿	(100.0)	(79.2) 100.0	3.8	7.5	30.0	16.9	1.3	5.0	35.6	(20.8)		
元親	(100.0)	(85.8) 100.0	2.2	9.7	22.9	22.6	4.7	6.9	31.0	(14.2)		

第33表 学歴および居住別勤労青少年の平均貯金額

(単位 円)

学歴	総数	住込み	寄宿舎・寮	下宿	元親
総数	8,622	10,556	11,429	7,636	8,769
中学卒	7,904	10,400	7,750	7,364	7,973
高校卒	8,748	13,333	7,000	7,414	9,010
短大卒	11,125	3,000	35,000	12,400	10,527

第34表 学歴およびなやみごととの有無、内容別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

学歴	総数	なやみごととあり												なし
		小計	勉強や進学の こと	仕事の こと	家族の こと	友人や 仲間の こと	異性の こと	お金の こと	政治や 社会の こと	性格の こと	健康の こと	容姿の こと	その他	
総数	(100.0) 100.0	(75.8) 100.0	15.6	49.5	25.7	23.1	27.3	28.1	6.7	23.0	20.3	7.4	2.8	0.1 (24.2)
中学卒	(100.0) 100.0	(68.6) 100.0	17.3	38.4	25.6	22.1	21.8	27.3	5.9	20.8	19.0	4.5	2.1	(31.4)
高校卒	(100.0) 100.0	(81.2) 100.0	15.5	56.6	26.3	23.9	29.6	27.9	7.6	24.3	21.7	7.9	2.4	0.2 (18.8)
短大卒以上	(100.0) 100.0	(79.4) 100.0	6.0	54.0	22.0	22.0	40.0	34.0	4.0	24.0	16.0	20.0	10.0	(20.6)

第35表 学歴およびなやみごととの相談相手別勤労青少年の構成 (M. A.)

(単位 %)

学歴	総数	父	母	きょうだい	祖父母 または 親類の者	先生	学校の 先輩	職場の 上位や 先輩	職場の 友だち	近所や 学校の 友だち	団体や クラブ 仲間	その他	相談する 人がない	不明
総数	100.0	6.5	20.7	16.1	3.7	1.7	2.1	6.6	32.2	21.6	7.1	7.7	9.5	0.8
中学卒	100.0	7.3	24.6	15.6	3.8	1.4	1.7	4.5	31.5	18.7	6.6	2.8	9.0	1.4
高校卒	100.0	5.7	17.7	16.0	3.6	2.1	2.1	7.9	33.7	22.4	7.4	10.3	9.8	0.2
短大卒以上	100.0	8.0	24.0	20.0	4.0		4.0	8.0	24.0	32.0	8.0	14.0	10.0	2.0

行政機関計票用 NO. 8657
昭和47年10月31日まで

事業所票
(47年9月)

（印）
労働省勤労青少年局

勤労青少年 証番号	事業所名 (TEL)	調査月日 月 日	調査員氏名
--------------	----------------	-------------	-------

産業分類	事業所規模	事業所所在地	性別	雇用労働者総数	計	青少年数 (15~24才)				
						15~19才	20~24才	中学生	高校生	大学生
1. 製造業	1. 500人以上		総数							
	2. 100~299人		男							
	3. 50~99人		女							
2. 卸売業・小売業	4. 5~29人									

○ 青少年の労務管理

問1 最近の青少年を職人としてどのように見えていますか
(各事項について○印をつけること)

項目	よい	普通	よい
一般教養、立派な力			
仕事の理解力			
仕事の向上意欲			
精 神			
責任心、個性			
愛社精神			
礼儀作法、しつけ等			

※その他○印を記入

問2 新規採用者に対して職場適応一定期間、職場適応、安全教育、社会人としての教育等に関し研修を行なっていますか
※社内での研修を行なっています

1. いえ 2. はい
期間()日間

※他機関で行なう研修に派遣者を参加

1. させる 2. させない

問3 青少年が在学中に自分の意志で下表の学校等に進学することについてどのように設けていますか

1. 奨励している 2. 奨励していない

※どのような方法ですか(該当のすべてに○印をつけるその他の欄は具体的に記入する)

学校等の種類	1) 学費等2) 経済的援助	その他	奨励の強さはしている
定時制高校		()	
通信制高校		()	
各種学校 3)		()	
公共職業訓練校		()	
その他		()	

注 1) 経済的援助の強さは、有給で早退を認める等時間的に便宜を与えているもの

2) 奨学金制度、学費の負担補助等経済的に援助を与えているもの

3) 例えげね・洋裁、簿記、珠算、タイピング、自動車運転等を教える学校教育法に基づく学校

問4 青少年の勤労意識を高めるため、今重点においてやっていることがありますか

1. あ 2. な い

※どういった点ですか(該当のすべてに○印をつけること)

労働条件	給与の引上げ 労働時間の短縮
福利厚生	勤怠管理の厳格化、不備 福利厚生施設の整備
教育訓練	職業訓練の強化 一般教養を高めるための教育
就業工夫	就業意欲の喚起 その他()
人間関係	職場相談員(お兄さん、お姉さん)の活用 相談制度(カウンセラー設置)の充実 就業者の内教育
適性配置	適性配置 その他()
将来性	昇進活用 その他()
その他	愛社精神の鼓舞 家族への説明

問5 就業後、定時制高校、大学の夜間部、専攻資格を取得した場合は昇進等に配慮しますか

1. する 2. しない 3. 事例なし 4. 不明

○ 職場レクリエーション

問6 貴事業所にはどんな文化、体育等の施設がありますか

1. あ 2. な い

※どのような施設ですか(該当のすべてに○印をつけること)

施設名	利用状況	青少年の利用状況	過不足の状況		
			多い	少ない	不足
文化関係等					
図書					
音楽会					
保養施設					
その他()					
体育関係等					
卓球					
その他()					

※注記運動場、テニスコート、バレーコート、体育館、弓道場、プール等
所有する施設名を記入し該当箇所○印をつけること

問7 貴会館がとくに備用して従業員に利用させている施設がありますか。

1 あ る 2 な い

(該当のすべてに○印をつけること)

施設名	所 有 者		青少年の利用状況			
	学 校	公 営	他の企業	多 い	普 通	少 ない
体 育 館 設						
教養、娯楽施設						
その他()						

問8 貴会館ではレクリエーションのために行事をしていますか。

1 い る 2 な い

○主たるは

1 事業所 2 加盟団体等

○どんな行事ですか(該当のすべてに○印をつけて下さい)

行事名	頻 度	青少年の参加状況		
		多 い	普 通	少 ない
運 動 会				
文 化 祭				
慰 安 会 行				
その他()				

問9 貴会館には、どんなクラブ、サークル活動がありますか。

1 あ る 2 な い

○どんな種類ですか(該当のすべてに○印をつけること)

種 別	無	有	青少年の参加状況		
			多 い	普 通	少 ない
読 書					
文 コーラス					
化 楽 隊					
舞 踊 部					
保 健 部					
その他()					
野 球					
卓 球					
テ ニ ス					
バドミントン					
フットボール					
ボレーボール					
バレーボール					
その他()					

問10 職場レクリエーションのために貴会館では年間どの位の予算(16年の実績)をくんでいますか。

1 い る 2 な い

(事業所単位) (1人当たり)

年 間 計 約 () 円 約 () 円

○余暇活動についての考え方

問11 青少年の事業所外の自主的なグループ活動についてどのように考えられていますか。(該当に○印をつけること)

- 1 よいと思う
2 やむを得ない
3 内容による
4 好き嫌い
5 その他()
- 理由 { 1 非行化する
2 生意気になる
3 引き戻きになり
4 その他() }
5 その他()

問12 貴事業所では青少年の余暇の過ごし方について指導の必要を感じていますか。

1 い る 2 な い

○理由

- 1 健全育成、不良化防止のため
2 定着性を高めるために
3 作業効率があがるので
4 その他 ()

○理由

- 1 余暇をどう過ごそうと本人の自由である
2 その他 ()

行政庁電子承認No. B653
昭和47年10月31日まで

個人票
(47年9月)

労働者別入少年局

労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局
労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局	労働者別入少年局

(注) ※欄は調査者が記入のこと

性別	男	女	年齢	才	勤続年数	年	月	学歴	中学卒	高等卒	短大卒	大学卒
居住状況	1. 住居	2. 事業所の寄居舎・寮等	3. アパート・同宿・下宿など(1人で友人と兄弟姉妹と)	4. 親元								

記入上の注意：とくに断りがない場合は「1」だけ「番号」に○印をつけて下さい

問1 あなたがここでしている仕事は何ですか

- 1 機械の製作及び修理、加工、組立、修理
- 2 荷造、梱包、運送など
- 3 事務(花名簿、説明、文書整理、事務用機械の操作、タイプライター)
- 4 販売、販売、販売、サービスなど
- 5 その他()

問2 最初の勤め先を定める時、自分の希望をきめたか

- 1 はい
- 2 いいえ

問3 ここは学校卒業後、最初の勤め先ですか

- 1 最初の勤め先
- 2 () 前回の勤め先

※最初の勤め先とは何を言いますか
(以下の3つ以内の○印をつけて下さい)

- 1 同業に就いた
- 2 労働時間が長い、就業が
- 3 給料が良かった
- 4 職場の環境、福利施設が
- 5 上司、同僚と合わない
- 6 仕事が自分に合わない
- 7 昇進の見通しがない
- 8 他の会社(工場)から誘われ、よいと思った
- 9 その他()

問4 あなたは今の勤め先をこれから変えたいと思つていきたいと思つて、それとも変えたいと思つていないか

- 1 今ままでよい
- 2 勤め先を変えたい
- 3 仕方ないから換える
- 4 立派に仕事を始めたい
- 5 結婚したらやめたい
- 6 わからない

※今の勤め先を変えたいと思つていない(以下の3つ以内の○印をつけて下さい)

- 1 給料と違う
- 2 労働時間が長い、就業が
- 3 給料が悪い
- 4 職場の環境、福利施設が
- 5 上司、同僚と合わない
- 6 仕事に自分に合わない
- 7 仕事に不満がある
- 8 仕事の社会的価値が低い
- 9 昇進の見通しがない
- 10 今の会社(工場)から誘われ、よいと思った
- 11 その他()

※今の勤め先を変えたいと思つていない(以下の3つ以内の○印をつけて下さい)

- 1 親内の会社(工場)()
- 2 親外の会社(工場)()

問5 あなたは今の仕事に興味がありますか

- 1 あり
- 2 なし
- 3 何とも言えない

理由()

- 1 仕事に変化がある
- 2 仕事に社会的意義がある
- 3 仕事に自分が生かせる
- 4 仕事に自分が合っている
- 5 その他()

問6 あなたは職場でのなやみごとがありますか

- 1 あり
- 2 なし

※どういふことですか(該当の3つ以内の○印をつけて下さい)

- 1 労働時間、給料のことなど
- 2 上司や仲間との関係性
- 3 学歴が重視されること
- 4 適正な配置のこと
- 5 扱った資格が評価されないこと
- 6 その他()

問7 これからの職業生活についてどのように考えていますか

- 1 会社(工場)で働き、早く高い地位につきたい
- 2 会社(工場)で働き、自分に合った仕事をやっていきたい
- 3 会社(工場)で働き、賃金がもらえればよい
- 4 技術者、技能者の道を進みたい
- 5 独立して自営業主になりたい
- 6 免許資格のいる職業(教師、税務士、弁護士など社会的地位のある)につきたい
- 7 職業生活には夢も希望もない
- 8 その他()

問8 あなたは仕事と余暇についてどう考えていますか(2つの中からえらんで下さい)

- 1 仕事だけが生きがい、余暇は遊び
- 2 労働時間中は仕事に集中し、余暇は余暇で楽しむ
- 3 余暇を楽しむことが生きがい、仕事は生活の手腕
- 4 その他()

問9 あなたが自由に過ごせる時間ほどの値ありますか

- 1 平日()時間位
- 2 休日()時間位

問10 あなたは日頃余暇をどう過ごしたいと思つていますか

(以下の3つ以内の○印をつけて下さいその他欄に具体的に記入して下さい)

余暇にやりたいこと	平日	休日
1 仕事に役立つことを学びたい		
2 かけいこと(書、花、手芸等)をしたい		
3 読書、研究で知的にきかぬりたい		
4 音楽、読書、雪合、音楽など趣味をいかにしたい		
5 ビンビン、野球などスポーツをしたい		
6 気のあった友人と遊びたい		
7 旅行、キャンプ、ハイキング等したい		
8 収入のある仕事をしたい		
9 休養したい		
10 その他()		

問11 あなたは今、学校や制けいごにに通っていますか。

1 い	2 ない
-----	------

○どちらの項目ですか(該当のすべてに○印をつけて下さい)

1 日曜高校	5 自動車運転	9 定時制大学
2 音楽、文芸	6 職業訓練施設	10 その他
3 料理	7 習字、書道等	
4 英語	8 定時制短大	

問12 あなたがスポーツや文化活動をする時、手帳に利用できる施設がありますか。

1 あ	2 な
-----	-----

○どのような施設ですか(該当のところに○印をつけて下さい)

施設	所有者	会社(工場)	他の会社	市町村	その他
体育関係					
文化活動関係					
その他()					

問13 先週の日曜時間(休日を除く)に次のうちで行ったことがあるのはどれですか(該当のすべてに○印をつけて下さい)

1 会社(工場)等の体育文化施設	5 学校の体育施設
2 公民館、図書館等	6 公園
3 公民館、図書館等	7 商業施設
4 会社(工場)の体育文化施設	8 商業施設
5 会社(工場)の体育文化施設	9 商業施設
6 会社(工場)の体育文化施設	10 美術、その他の展覧会
7 会社(工場)の体育文化施設	11 その他()
8 会社(工場)の体育文化施設	12 どれも利用しない
9 会社(工場)の体育文化施設	
10 会社(工場)の体育文化施設	
11 会社(工場)の体育文化施設	
12 会社(工場)の体育文化施設	

問14 この節の休日(次のうち)にいったことがあるのはどれですか(該当のすべてに○印をつけて下さい)

1 青年の夜、ユースホステル等の会館宿泊施設	5 公民館、図書館等
2 会社(工場)の体育文化施設	6 学校の体育施設
3 公民館、図書館等	7 公園
4 会社(工場)の体育文化施設	8 商業施設
5 会社(工場)の体育文化施設	9 商業施設
6 会社(工場)の体育文化施設	10 美術、その他の展覧会
7 会社(工場)の体育文化施設	11 その他()
8 会社(工場)の体育文化施設	12 どれも利用しない
9 会社(工場)の体育文化施設	
10 会社(工場)の体育文化施設	
11 会社(工場)の体育文化施設	
12 会社(工場)の体育文化施設	

問15 問13、14の施設でほしいものを書いて下さい

--

問16 教養、娯楽、学費、貯金等にどの位の金額をあてていますか

毎月千数百円	約()円
1 学費(高校、短大、大学)	約()円
2 1以外の教養、娯楽費	約()円
3 貯金	約()円

問17 あなたは団体や、クラブ・サークルに入っていますか

1 い	2 ない
-----	------

○理由

1 内容がよいと思ったから	1 自分にあつたものがない
2 友人(同性)がほしい	2 時間、金がない
3 友人(異性)がほしい	3 会社がよい顔をしない
4 その他()	4 その他()

○主にどのような種類のものですか

1 体育関係	3 娯楽関係
2 文化関係	4 その他()

○誰がつくったものですか

1 会社(工場)のつくったもの
2 労働のつくったもの
3 雇員の仲間がつくったもの
4 学校の仲間がつくったもの
5 職場外の仲間がつくったもの
6 同僚の仲間がつくったもの
7 市や町がつくったもの
8 政治、宗教団体のつくったもの
9 その他()

問18 あなたはなやみごとや心配ごとがありますか

1 あ	2 な
-----	-----

○(該当のすべてに○印をつけて下さい)

1 勉強や仕事のこと	7 政治や社会のこと
2 仕事のこと	8 性格のこと
3 家族のこと	9 健康のこと
4 友人や仲間のこと	10 恋愛のこと
5 異性のこと	11 その他()
6 お金のこと	

問19 なやみごとや心配ごとに悩まれますか

1 女	7 学校の先生
2 母	8 職場の上役や先輩
3 ようだい	9 職場の先輩
4 祖父または父親の妻	10 団体やグループなどの仲間
5 先生	11 その他()
6 近所や学校の友達	12 相談する人がいない

